

第132図 遺物堆積層出土の土師器貯蔵・煮沸具の等密分布

西集落域でとくに集積が激しいのは、H17グリッドからI20グリッド付近である。この付近は、堆積層の下に掘立柱建物跡は乏しく、大形の堅穴住居跡が多い。堅穴住居跡にかかわる遺物かもしれない。

区画施設の中央部やや北にも集中がみられる。この地点には、大形の井戸がある。また河川跡に向かって傾斜面にかけても豊富な堆積層を確認できた。とくにD18グリッド付近の堆積が最大である。

なお、北島遺跡から出土した貯蔵具の総破片数は、10,018片に及び、420.433kgを量る。産地別の内訳は、東海地方西部の製品が、342片で9.603kg。末野窯跡群の製品が7,108片で293.590kg。南比企窯跡群の製品が2,368片で105.469kg。東金子窯跡群の製品が24片で758g。秋間窯跡群の製品が136片で9.267kg。金山窯跡群他の製品が24片で1.001kg。新治窯跡群の製品が3片で287gであった。

破片数・重量の産地比率は、圧倒的に末野窯跡群の製品が多く、次いで南比企窯跡群の製品、そして東海地方の製品の順となる。

出土遺構別の出土量は、まず破片数では、溝5,205片、土城1,569片、堅穴住居跡1,372片、井戸768片、ピット535片、掘立柱建物跡237片、性格不明遺構93片、古墳56片、河川跡42片、火葬跡5片、集石遺構1片、試掘25片、表採110片である。圧倒的に溝跡からの出土が多い。

また重量では、溝236.878kg、土城73.266kg、井戸37.832kg、堅穴住居跡36.657kg、ピット14.263kg、掘立柱建物跡7.117kg、河川跡2.373kg、性格不明遺構2.371kg、古墳2.319kg、火葬跡0.125kg、集石遺構0.026kg、試掘1.413kg、表採5.793kgである。これも圧倒的に溝からの出土が多い。

とくに区画溝からの出土が多く、その他の溝からは1～3片の出土であるが、前期区画溝の第87号溝からは、137片、後期区画溝の第91号溝からは、82片に及ぶ須恵器の貯蔵具が出土した。

また羽釜の破片のみ、小グリッドごとの堆積状況を示した(第133図)。羽釜の破片は、西集落域の中

央部に集中し、とくにK17cグリッドが激しい。このグリッドの下層には、廃棄土壌が作られ、羽釜の破片が大量に廃棄された。とくに区画溝の左右に大きく広がる状況を確認できる。

羽釜の破片が、西集落域以外から出土しない点は、10世紀に古墳域や耕作域などが、集落として取り込まれなかったためであろう。

#### 〔甌〕

第145図1～3は、甌である。1は、底部が欠損するが、三角形の甌であろう。2・3は、甌の把手である。利根川水系の原土が用いられている。

#### 〔甕〕

第145図4～第146図1～3は、甕である。第145図4～8・10～14は、長胴甕である。15・16、第146図1～3は、「コ」の字状口縁臺とその後続形態の甕である。全て利根川水系の原土が用いられている。

#### 〔羽釜〕

第146図4・5は、羽釜である。4は、羽部に縦位の穿孔が見られる。利根川水系の原土が用いられた土師器である。5は、末野窯跡群で生産された酸化炎焼成の土器である。

#### 〔獸脚〕

第146図6は、脚付き鍋の獸脚と判断した。五面を削る。酸化炎焼成の土器である。

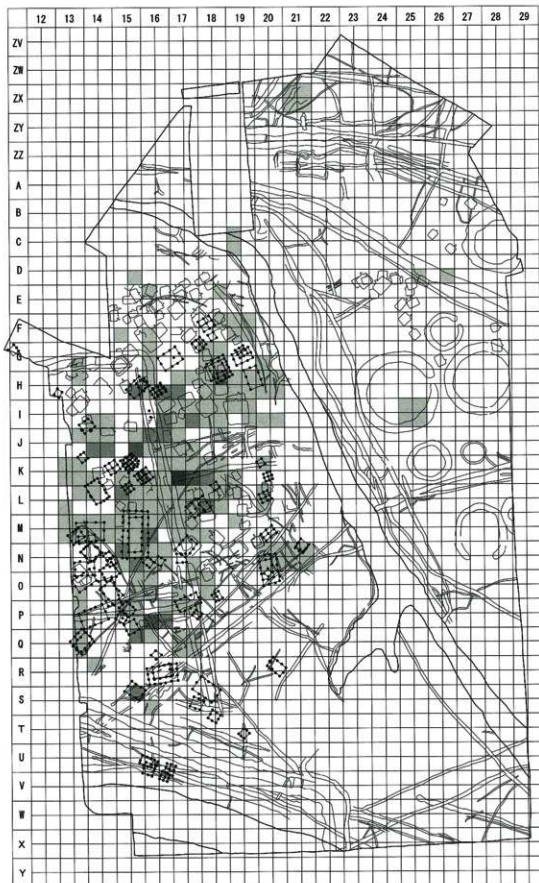
#### 〔支脚〕

第146図7は、支脚である。輪積み痕が明瞭で外面下部には、細い沈線がめぐる。

#### その他の土器

##### 〔コップ形土器〕

第144図1～3はコップ形土器の蓋、4は、コップ形土器である。蓋は、明瞭な返りが無く、口径が小さい。1のみだが、宝珠形つまみを持つ。4は、底部の縁辺をヘラケズリしている。全て南比企窯跡群の製品である。なお、コップ形土器は、井上尚明氏によって「罌」と解明されている(井上 1993)。



第133図 遺物堆積層出土の羽箭の等密分布

〔円面硯〕

第143図24～29は、円面硯である。24・25は、硯面のみで脚部を欠損する。24は、方形の透の一部がみられる。陸は高く、緩やかに海に向かう。外線の突線は高いが、内線よりも低い。

26～29は、脚部の破片である。26は、脚部側面に戯画が描かれる。鋭い筒状の工具で山または家か林のような絵を描き、隣に馬のような動物を描く。動物の目にあたるところが、小さな円形孔を穿つ。脚の端部は外方に突き出る。

27・29には、筒状工具による「川」の字状の文様がみられる。ただし透はない。28は、脚付き壺の脚かもしれない。全て南比企窯跡群の製品である。

〔風字硯〕

第143図30～32は、風字硯である。30は酸化炎焼成の須恵器である。31は、外線部の堤が高い。32は、二面風字硯である。南比企窯跡群の製品である。

〔こね鉢〕

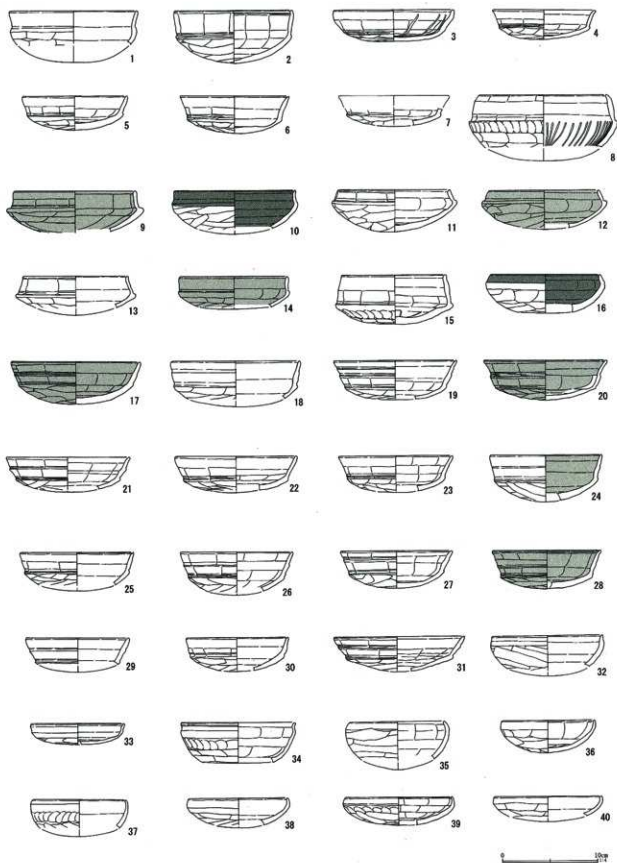
第144図6は、こね鉢である。底部が厚く、外面に突線がめぐる。口縁部下に沈線が、二条めぐる。南比企窯跡群の製品である。

〔仏鉢模倣土器〕

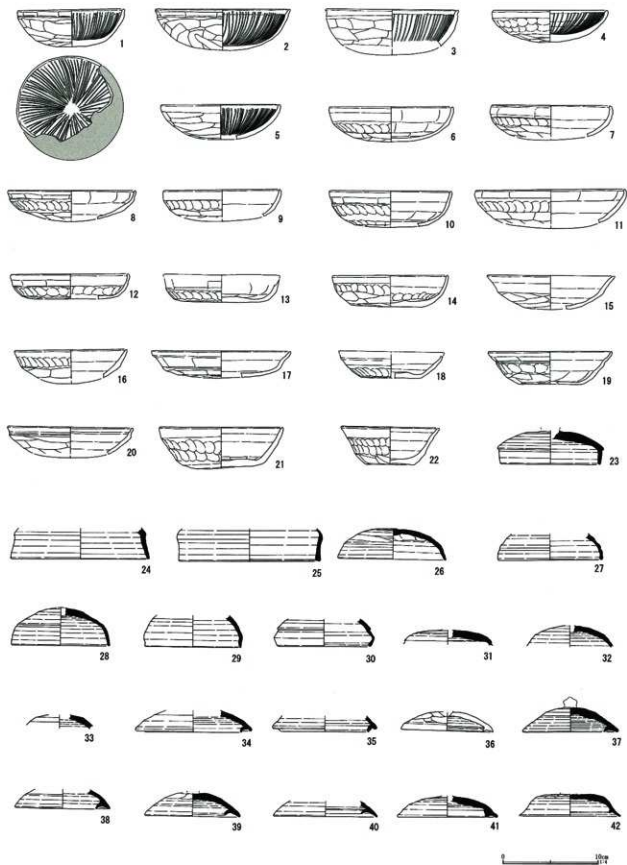
第144図7は、仏鉢模倣土器である。器高の低い仏鉢模倣土器である。外面下半はヘラケズリされている。南比企窯跡群の製品である。

第36表 遺物堆積層の土師器・須恵器(1)

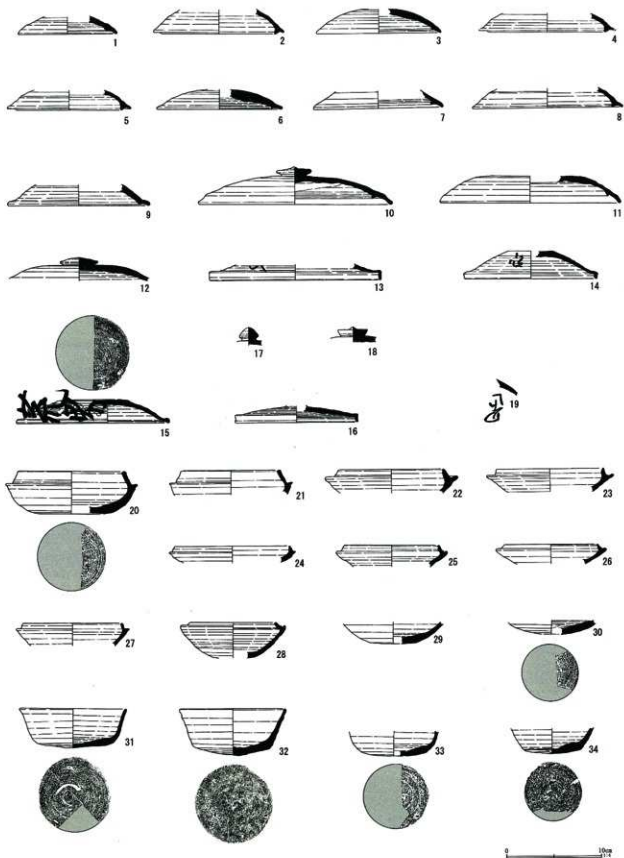
図番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第134図	1	SK499	土師器	坏蓋模倣坏	134	134	—	10	にぶい橙	利根川	
第134図	2	F-15グリップ SD30	土師器	坏蓋模倣坏	124	123	55	95	にぶい橙	利根川	
第134図	3	D-20-1	土師器	坏蓋模倣坏	128	106	300	100	橙	利根川	
第134図	4	O-25グリッド	土師器	坏蓋模倣坏	106	95	31	100	橙	利根川	
第134図	5	F-15グリップ SD30	土師器	坏蓋模倣坏	110	103	35	40	にぶい橙	利根川	
第134図	6	SK683	土師器	坏蓋模倣坏	115	101	39	50	浅黄橙	利根川	
第134図	7	SJ410	土師器	坏蓋模倣坏	—	100	—	5	にぶい黄橙	利根川	
第134図	8	SK238	土師器	坏身模倣坏	133	157	—	30	内-灰 外-黄橙	利根川	
第134図	9	B-17	土師器	坏身模倣坏	126	144	—	30	内-黒褐 外-黒	利根川	
第134図	10	O-23グリッド	土師器	坏身模倣坏	126	—	—	20	内-黒褐 外-黒	比企入間	
第134図	11	SD327	土師器	坏身模倣坏	118	133	144	100	橙	利根川	
第134図	12	SD327	土師器	坏身模倣坏	116	133	—	35	にぶい橙	利根川	
第134図	13	F-17グリップ SK25	土師器	坏身模倣坏	110	127	—	10	浅黄橙	利根川	
第134図	14	SJ205 カマド	土師器	坏身模倣坏	113	118	—	10	明褐	利根川	
第134図	15	F-15グリップ SD30	土師器	坏身模倣坏	109	124	51	80	橙	利根川	
第134図	16	F-15グリップ SD30	土師器	坏身模倣坏	116	125	—	15	内-赤 外-にぶい橙	比企入間	
第134図	17	B-17	土師器	有段口縁坏	135	121	45	60	灰	利根川	
第134図	18	O-14グリッド 灰	土師器	有段口縁坏	136	131	—	10	橙	利根川	
第134図	19	O-14グリッド 灰	土師器	有段口縁坏	130	119	—	15	内-にぶい橙 外-明褐	利根川	
第134図	20	SK683	土師器	有段口縁坏	130	118	41	40	褐灰	利根川	
第134図	21	SJ373	土師器	有段口縁坏	129	111	—	10	灰黄	利根川	
第134図	22	SJ372	土師器	有段口縁坏	127	111	—	10	内-黄 外-明褐	利根川	
第134図	23	Q-13グリッド SD38	土師器	有段口縁坏	120	105	—	10	内-にぶい橙 外-明褐	利根川	
第134図	24	SK499	土師器	有段口縁坏	117	110	—	15	内-赤 外-明褐	利根川	
第134図	25	SK499	土師器	有段口縁坏	120	111	—	15	にぶい橙	利根川	
第134図	26	SJ372 カマド	土師器	有段口縁坏	118	101	—	30	にぶい黄橙	利根川	
第134図	27	I-16グリッド	土師器	有段口縁坏	116	101	39	100	内-にぶい橙 外-明褐	利根川	
第134図	28	SK275	土師器	有段口縁坏	113	98	40	40	内-にぶい橙 外-赤	利根川	
第134図	29	SJ349	土師器	有段口縁坏	108	90	—	5	橙	利根川	
第134図	30	SK774	土師器	有段口縁坏	108	101	—	10	灰白	利根川	



第134図 遺物堆積層の出土遺物 (1) 土師器・須恵器 (1)



第135図 遺物堆積層の出土遺物(2) 土師器・須恵器(2)

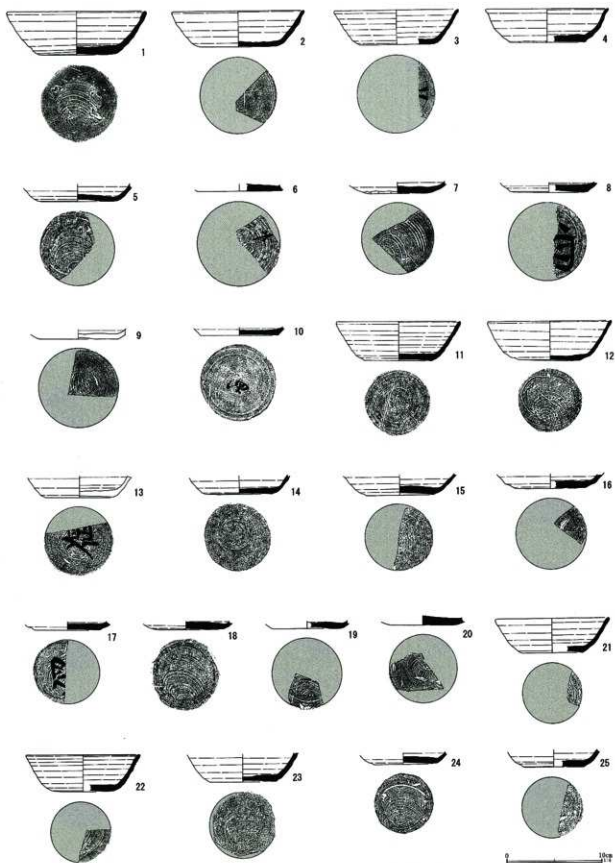


第136図 遺物堆積層の出土遺物 (3) 土師器・須恵器 (3)

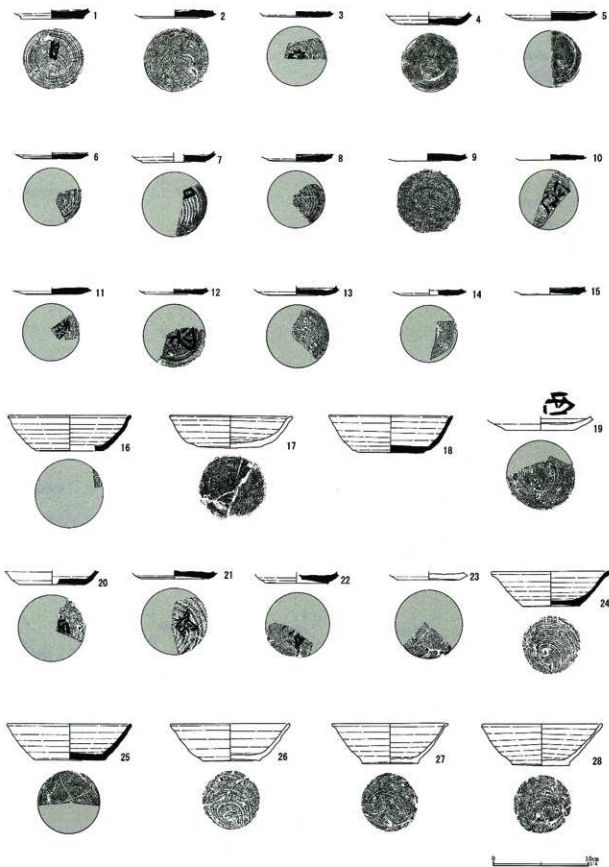


第137図 遺物堆積層の出土遺物 (4) 土師器・須恵器 (4)

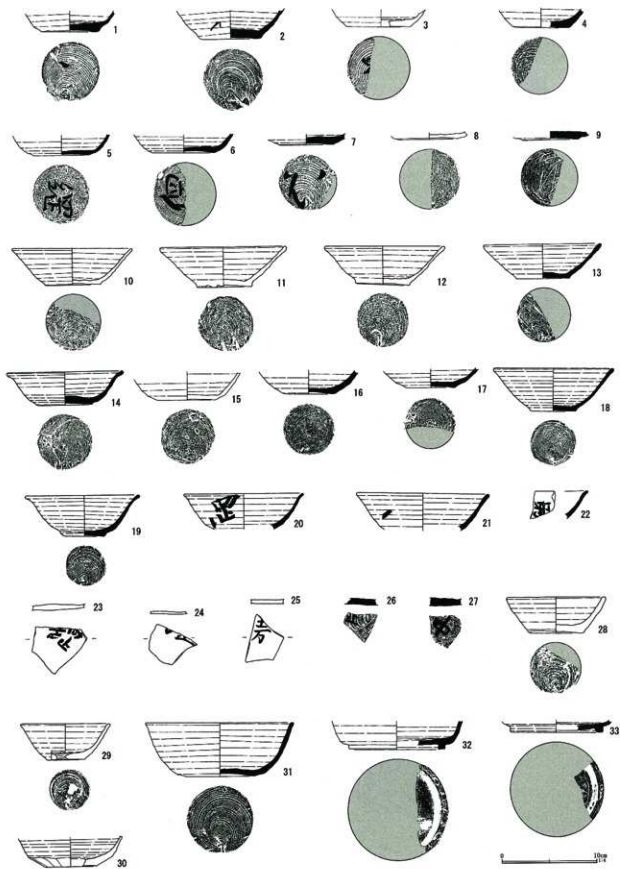




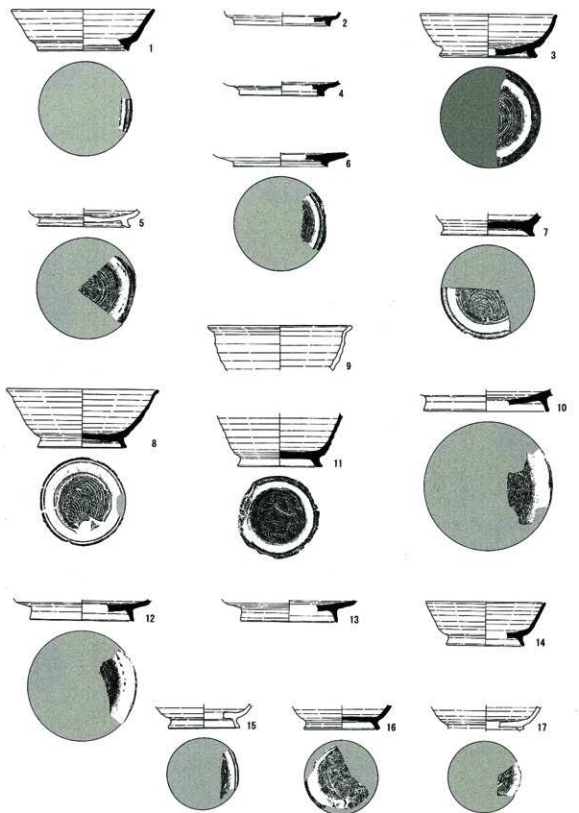
第138図 遺物堆積層の出土遺物 (5) 土師器・須恵器 (5)



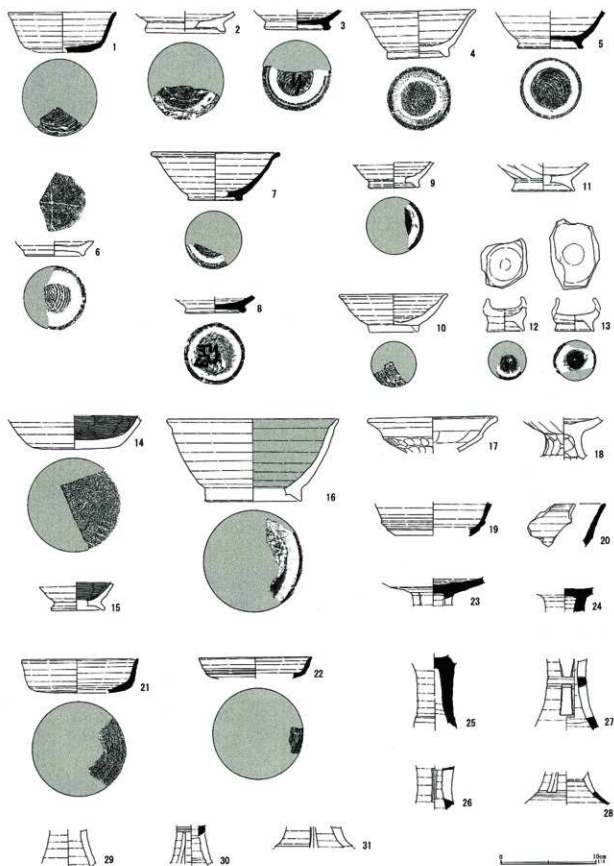
第139図 遺物堆積層の出土遺物 (6) 土師器・須恵器 (6)



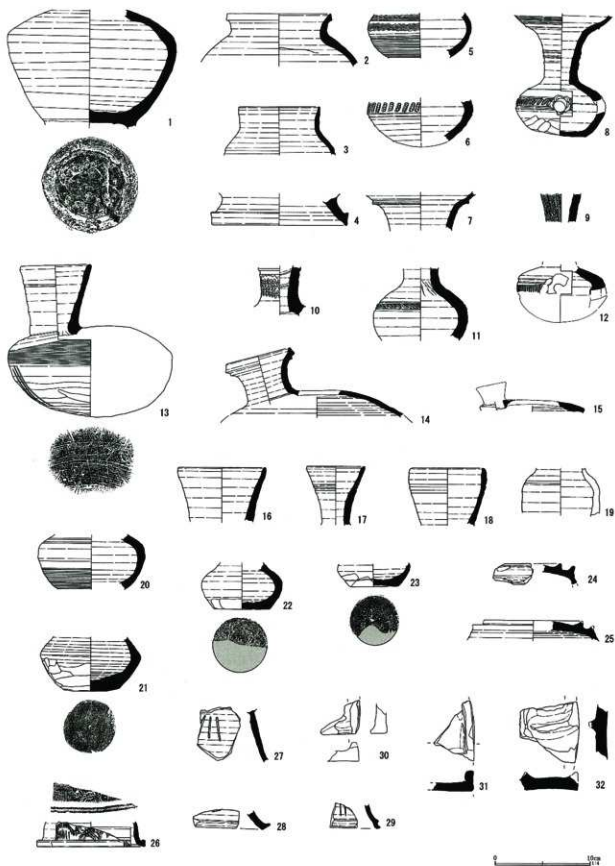
第140図 遺物堆積層の出土遺物（7）土師器・須恵器（7）



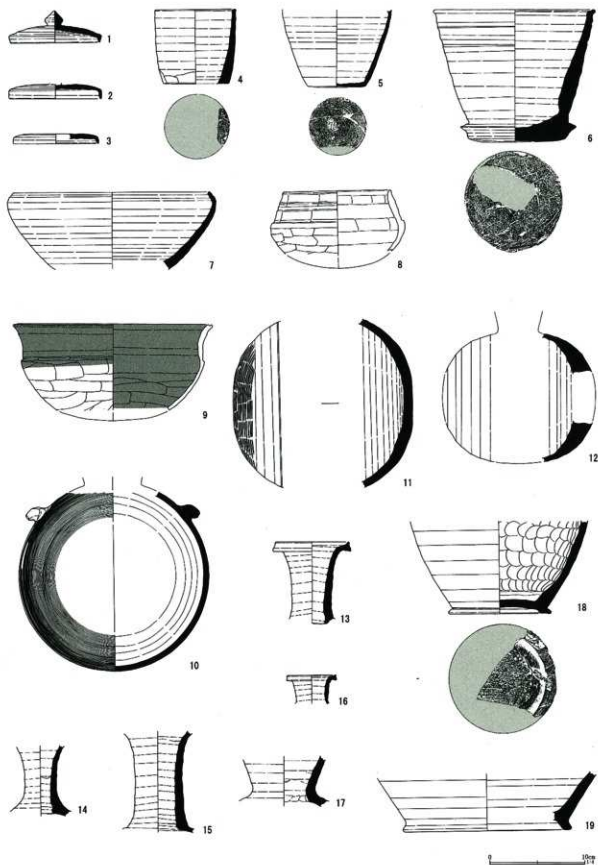
第141図 遺物堆積層の出土遺物 (8) 土師器・須恵器 (8)



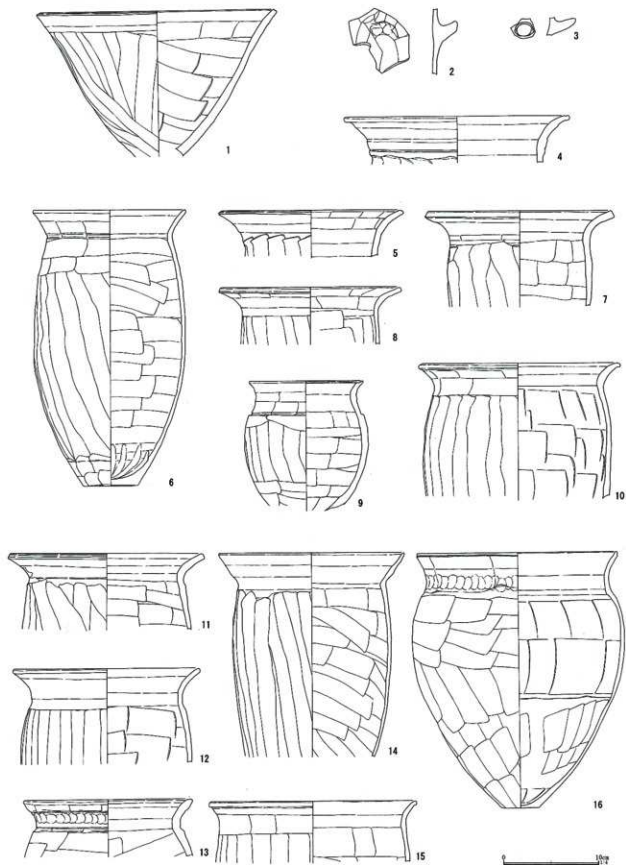
第142図 遺物堆積層の出土遺物 (9) 土師器・須恵器 (9)



第143図 遺物堆積層の出土遺物 (10) 土師器・須恵器 (10)

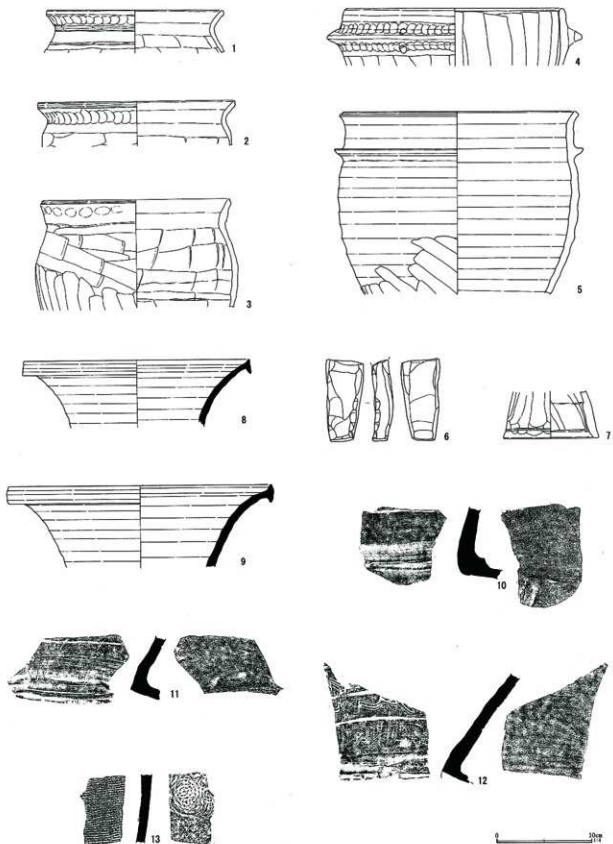


第144図 遺物堆積層の出土遺物 (11) 土師器・須恵器 (11)



第145図 遺物堆積層の出土遺物 (12) 土師器・須恵器 (12)





第146図 遺物堆積層の出土遺物 (13) 土師器・須恵器 (13)

第37表 遺物堆積層の土師器・須恵器(2)

棟回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第134図	31	SD75	土師器	有段口縁坏	138	114	—	10	橙	利根川	
第134図	32	SJ110	土師器	内湾口縁坏	116	120	—	5	橙	利根川	
第134図	33	SJ144 カマド	土師器	内湾口縁坏	97	96	22	10	橙	利根川	
第134図	34	SJ74	土師器	坏A	120	121	—	10	にぶい黄橙	ローム土	
第134図	35	SK585	土師器	内湾口縁坏	100	110	—	10	にぶい橙	利根川	
第134図	36	SK238	土師器	内湾口縁坏	98	100	39	85	橙	利根川	
第134図	37	SJ410	土師器	内湾口縁坏	98	102	—	5	にぶい橙	利根川	
第134図	38	SK745	土師器	内湾口縁坏	104	108	—	10	淡赤橙	利根川	
第134図	39	SK234	土師器	内湾口縁坏	112	118	30	15	にぶい橙	利根川	
第134図	40	0-14グリッド No6	土師器	内湾口縁坏	112	116	—	10	にぶい橙	利根川	
第135図	1	P-10グリッド S033	土師器	北島型埴文土器	111	113	39	45	橙	利根川	
第135図	2	P-13グリッド-d	土師器	北島型埴文土器	141	138	43	95	橙	利根川	
第135図	3	SJ410	土師器	北島型埴文土器	140	140	—	5	赤橙	利根川	
第135図	4	F-12グリッド-c	土師器	北島型埴文土器	120	120	33	95	にぶい黄橙	利根川	
第135図	5	E-15グリッド No3	土師器	北島型埴文土器	126	125	—	20	赤にぶい黄	利根川	
第135図	6	SJ393	土師器	内湾口縁坏	130	123	37	75	にぶい褐	利根川	
第135図	7	SJ409	土師器	内湾口縁坏	125	128	—	35	褐灰	利根川	
第135図	8	SJ409	土師器	坏A	133	132	—	45	灰褐	利根川	
第135図	9	SJ409	土師器	坏A	123	123	—	10	橙	利根川	
第135図	10	SK211	土師器	坏A	128	124	—	—	—	利根川	
第135図	11	Q-13グリッド S886	土師器	坏A	158	160	—	10	にぶい橙	利根川	
第135図	12	J-18グリッド S027	土師器	坏A	124	122	—	15	にぶい橙	利根川	
第135図	13	N-16グリッド-a	土師器	坏A	—	77	—	40	赤にぶい黄	利根川	
第135図	14	SK375	土師器	坏A	121	120	33	65	浅黄橙	利根川	
第135図	15	SJ409	土師器	外反口縁皿	134	113	—	30	にぶい橙	利根川	
第135図	16	SK747	土師器	外反口縁皿	118	105	—	10	にぶい橙	利根川	
第135図	17	SJ409	土師器	皿	147	125	—	25	にぶい橙	利根川	
第135図	18	M-15グリッド No4	土師器	坏A	—	108	—	20	にぶい橙	利根川	
第135図	19	I-15グリッド	土師器	坏A	129	66	34	80	にぶい橙	ローム土	
第135図	20	SD431	土師器	皿	132	—	—	10	明黄褐	利根川	
第135図	21	P-15グリッド	土師器	坏B	130	85	44	100	橙	利根川	
第135図	22	K-17グリッド-a	土師器	坏B	102	51	39	20	にぶい黄橙	末野カ	
第135図	23	SD378	須恵器	坏蓋	105	—	—	25	褐灰	畿内カ	
第135図	24	SJ112	須恵器	坏蓋	145	—	—	5	褐灰	南比企	
第135図	25	H-19グリッド-b	須恵器	坏蓋	148	—	—	10	赤- 黒 赤- 黒	南比企	
第135図	26	遺物包含層	須恵器	坏蓋	112	—	—	50	明青灰	金山カ	
第135図	27	L-14グリッド-a	須恵器	坏蓋	107	—	—	5	オリーブ灰	金山カ湖西	
第135図	28	SK499	須恵器	坏蓋	103	—	—	30	にぶい褐	湖西	
第135図	29	L-21グリッド-a	須恵器	坏蓋	100	—	—	5	灰白	湖西	
第135図	30	F-16グリッド-a	須恵器	坏蓋	97	—	—	15	灰	湖西	
第135図	31	H-14グリッド-b	須恵器	坏蓋	—	—	—	10	灰白	猿投	
第135図	32	I-14グリッド-a	須恵器	坏蓋	—	—	—	10	灰	湖西	
第135図	33	SJ363	須恵器	坏蓋	—	—	—	5	灰白	湖西	
第135図	34	I-24グリッド	須恵器	坏蓋	122	—	—	5	灰白	湖西	
第135図	35	L-20グリッド-b	須恵器	坏蓋	91	—	—	5	灰白	湖西	
第135図	36	H-19グリッド	須恵器	坏蓋	97	—	—	20	灰白	金山カ兼附	
第135図	37	I-17グリッド-c	須恵器	坏蓋	100	—	—	30	灰	湖西	
第135図	38	E-17グリッド	須恵器	坏蓋	100	—	—	10	灰白	湖西	

第38表 遺物堆積層の土師器・須恵器(3)

押図番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第135図	39	L-20グリッド-d	須恵器	坏蓋	100	—	—	25	灰	湖西	
第135図	40	L-20グリッド-b	須恵器	坏蓋	110	—	—	5	灰	末野	
第135図	41	I-18グリッド-b	須恵器	坏蓋	105	—	—	20	黄灰	秋間	
第135図	42	I-14グリッド-b	須恵器	坏蓋	106	—	—	20	灰白	末野	
第136図	1	SJ84	須恵器	坏蓋	104	—	—	5	灰	末野	
第136図	2	F-17グリッド-c	須恵器	坏蓋	138	—	—	10	灰白	湖西	
第136図	3	遺物包含層	須恵器	坏蓋	130	—	—	10	内-灰 外-灰	金山	
第136図	4	E-16グリッド-d	須恵器	坏蓋	—	—	—	5	灰	末野	
第136図	5	Q-14グリッド-a	須恵器	坏蓋	131	—	—	5	灰	湖西	
第136図	6	K-15グリッド-a	須恵器	坏蓋	132	—	—	20	内-灰白 外-灰	秋間	
第136図	7	SD461	須恵器	坏蓋	137	—	—	5	灰白	末野	
第136図	8	F-17グリッド-b	須恵器	坏蓋	159	—	—	5	内-灰白 外-灰	湖西	
第136図	9	M-14グリッド-a	須恵器	坏蓋	149	—	—	5	青灰	末野	
第136図	10	M-18グリッド	須恵器	坏蓋	202	—	39	40	灰	末野	
第136図	11	O-16グリッド-b	須恵器	坏蓋	190	—	—	30	灰白	末野	
第136図	12	SK774	須恵器	坏蓋	—	—	—	20	内-黄 外-灰	末野	
第136図	13	T-14グリッド	須恵器	坏蓋	180	—	—	10	灰	南比企	墨書「家」
第136図	14	M-16グリッド	須恵器	坏蓋	137	—	—	10	灰	末野	墨書「網」
第136図	15	W-21グリッド	須恵器	坏蓋	161	—	—	40	灰	末野	墨書「克男」
第136図	16	SJ196	須恵器	坏蓋	128	—	—	10	—	南比企	
第136図	17	SK251	須恵器	坏蓋	—	—	—	5	灰	湖西	
第136図	18	SK238	須恵器	坏蓋	—	—	—	5	灰	南比企	
第136図	19	L-17グリッド-c	須恵器	坏蓋	—	—	—	5	内-灰 外-黄灰	末野	墨書「網」
第136図	20	SK499	須恵器	坏身	115	114	—	30	内-灰 外-黄灰	畿内	
第136図	21	SK499	須恵器	坏身	106	—	—	5	灰	不詳	
第136図	22	N-16グリッド-b	須恵器	坏身	110	—	—	5	灰白	南比企	
第136図	23	P-15グリッド	須恵器	坏身	112	—	—	5	褐灰	南比企	
第136図	24	L-14グリッド-c	須恵器	坏身	121	—	—	5	青灰	秋間	
第136図	25	M-16グリッド-b	須恵器	坏身	100	—	—	5	灰白	湖西	
第136図	26	SJ86	須恵器	坏身	98	—	—	5	灰	湖西	
第136図	27	L-14グリッド-a	須恵器	坏身	103	—	—	5	灰	湖西	
第136図	28	N-19グリッド	須恵器	坏身	90	—	—	20	灰	湖西	
第136図	29	SJ388	須恵器	坏身	—	—	—	5	灰白	湖西	
第136図	30	SD431	須恵器	坏身	—	90	—	5	褐灰	湖西	
第136図	31	C-16グリッド-d	須恵器	坏身	112	90	50	70	褐灰	末野	
第136図	32	SD302	須恵器	坏身	111	78	48	90	灰	末野	
第136図	33	SD431	須恵器	坏身	—	69	—	20	灰	末野	
第136図	34	D-19グリッド-a	須恵器	坏身	—	60	—	30	灰	末野	
第137図	1	Q-27グリッド	須恵器	坏身	112	82	47	70	灰	末野	
第137図	2	F-17グリッド-1	須恵器	坏身	194	122	48	60	内-灰 外-黄灰	末野	
第137図	3	O-16グリッド-b	須恵器	坏身	—	120	—	10	灰白	秋間力	
第137図	4	SK238	須恵器	坏	—	102	—	10	内-灰 外-黄灰	南比企	
第137図	5	SK745	須恵器	坏	—	90	—	10	灰	南比企	
第137図	6	H-15グリッド-d	須恵器	坏	—	78	—	20	灰白	南比企	刻書
第137図	7	G-20グリッド-c	須恵器	坏	130	70	41	35	灰白	南比企	刻書
第137図	8	SK747	須恵器	坏	123	74	34	40	灰	南比企	
第137図	9	遺物包含層	須恵器	坏	117	77	32	40	灰	南比企	墨書「第成」
第137図	10	E-17グリッド-c	須恵器	坏	—	70	—	20	灰白	末野	

第39表 遺物堆積層の土師器・須恵器(4)

棟回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第137図	11	L-14グリッド-c	須恵器	坏	-	84	-	10	灰白	南比企	刻書
第137図	12	M-27グリッド S02	須恵器	坏	-	68	-	20	灰白	新治	
第137図	13	SK30	須恵器	坏	-	86	-	20	灰白	南比企	
第137図	14	N-15グリッド-d	須恵器	坏	-	63	-	5	黄灰	南比企	墨書「綱」
第137図	15	SD327	須恵器	坏	-	65	-	15	灰	南比企	墨書「綱」
第137図	16	G-20グリッド-c	須恵器	坏	-	69	-	20	灰	未野	穿孔
第137図	17	SK266	須恵器	坏	-	66	-	20	灰	南比企	
第137図	18	試掘4トレンチ	須恵器	坏	-	64	-	5	灰	南比企	墨書「綱」
第137図	19	L-20グリッド-b	須恵器	坏	-	100	-	15	明紫灰	秋岡カ	
第137図	20	J-15グリッド-b	須恵器	坏	-	91	-	25	灰	南比企	刻書
第137図	21	SK238	須恵器	坏	-	77	-	20	暗褐	南比企	
第137図	22	K-18グリッド	須恵器	坏	-	96	-	5	灰	南比企	墨書「綱」
第137図	23	L-17グリッド-b	須恵器	坏	-	-	-	10	灰白	南比企	墨書「口」宝口カ
第138図	1	P-23グリッド	須恵器	坏	147	95	45	50	灰	南比企	
第138図	2	O-13グリッド	須恵器	坏	138	82	38	20	灰白	南比企	刻書
第138図	3	I-16グリッド-d	須恵器	坏	131	78	-	25	灰白	南比企	墨書「口」土万カ
第138図	4	L-18グリッド S01	須恵器	坏	129	80	35	20	-	南比企	
第138図	5	N-15グリッド-c	須恵器	坏	-	84	-	20	灰	南比企	刻書
第138図	6	K-13グリッド-b	須恵器	坏	-	88	-	5	灰白	南比企	墨書「口」
第138図	7	J-16グリッド-a	須恵器	坏	-	74	-	20	灰	南比企	刻書
第138図	8	L-15グリッド-a	須恵器	坏	-	82	-	10	にぶい黄橙	未野	墨書「綱」
第138図	9	L-14グリッド-a	須恵器	坏	-	82	-	10	にぶい赤褐	南比企	刻書
第138図	10	M-16グリッド-d	須恵器	坏	-	83	-	20	灰	南比企	墨書「綱」
第138図	11	F-16グリッド	須恵器	坏	129	71	41	60	灰白	南比企	刻書
第138図	12	L-14グリッド-a	須恵器	坏	129	67	41	80	灰	南比企	刻書
第138図	13	M-15グリッド-b	須恵器	坏	-	70	-	20	青にぶい赤褐	南比企	墨書「綱」
第138図	14	N-15グリッド	須恵器	坏	-	72	-	30	灰	南比企	刻書
第138図	15	遺物包含層	須恵器	坏	-	70	-	25	明青灰	南比企	
第138図	16	I-17グリッド-b	須恵器	坏	-	74	-	5	灰	南比企	刻書
第138図	17	L-18グリッド-a	須恵器	坏	-	70	-	10	灰	南比企	墨書「綱」
第138図	18	M-16グリッド-d	須恵器	坏	-	75	-	30	灰	南比企	刻書
第138図	19	H-19グリッド-b	須恵器	坏	-	-	-	5	灰白	南比企	刻書
第138図	20	J-16グリッド-b	須恵器	坏	-	71	-	10	灰白	南比企	刻書
第138図	21	M-15グリッド H6	須恵器	坏	-	59	-	20	灰	南比企	
第138図	22	S-17グリッド SD7	須恵器	坏	120	66	33	20	灰	南比企	
第138図	23	遺物包含層	須恵器	坏	-	70	-	25	褐灰	南比企	
第138図	24	遺物包含層	須恵器	坏	-	62	-	20	暗青灰	南比企	
第138図	25	SD78	須恵器	坏	-	67	-	10	灰	南比企	
第139図	1	M-14グリッド-b	須恵器	坏	-	65	-	20	褐灰	南比企	墨書「綱」益カ
第139図	2	N-15グリッド	須恵器	坏	-	65	-	20	灰白	南比企	
第139図	3	遺物包含層	須恵器	坏	70	-	-	5	灰白	南比企	墨書「綱」
第139図	4	4トレンチ	須恵器	坏	-	60	-	30	灰	南比企	
第139図	5	SK747	須恵器	坏	-	74	-	10	灰	南比企	刻書
第139図	6	M-15グリッド-c	須恵器	坏	-	60	-	5	灰	南比企	刻書
第139図	7	SK747	須恵器	坏	-	67	-	20	灰	南比企	墨書「綱」
第139図	8	L-16グリッド-a	須恵器	坏	-	60	-	5	灰白	南比企	刻書
第139図	9	SK49	須恵器	坏	-	65	-	20	灰白	南比企	
第139図	10	SK315	須恵器	坏	-	67	-	5	灰	南比企	墨書「綱」

第40表 遺物堆積層の土師器・須恵器(5)

探洞番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第139図	11	SK46	須恵器	坏	—	60	—	5	灰	南比企	墨書「綱」
第139図	12	SJ388	須恵器	坏	—	62	—	18	灰	南比企	墨書「綱」
第139図	13	M-16グリッド-c	須恵器	坏	—	70	—	10	灰	南比企	
第139図	14	SB-4-Pir 8	須恵器	坏	—	60	—	5	灰	南比企	
第139図	15	SK211	須恵器	坏	—	61	—	5	—	南比企	
第139図	16	SJ388	須恵器	坏	127	72	—	10	灰	南比企	
第139図	17	K-18グリッド	須恵器	坏	129	69	34	80	灰白	ローム土	
第139図	18	M-15グリッド SK-3	須恵器	坏	130	70	39	50	灰	南比企	
第139図	19	H-21グリッド	須恵器	坏	—	72	—	15	白-灰 白-黒斑	未野	墨書「西」
第139図	20	M-14グリッド-c	須恵器	坏	—	69	—	10	灰	南比企	墨書「綱」
第139図	21	M-16グリッド-c	須恵器	坏	—	70	—	10	灰白	未野	墨書「綱」
第139図	22	L-16グリッド	須恵器	坏	—	68	—	5	灰	未野	墨書「綱」
第139図	23	E-25グリッド-b	須恵器	坏	—	68	—	10	灰黄	南比企	刻書
第139図	24	O-15グリッド-d	須恵器	坏	123	62	37	45	灰白	未野	
第139図	25	H-17グリッド-c	須恵器	坏	130	72	38	28	灰	南比企	刻書
第139図	26	P-15グリッド	須恵器	坏	124	62	39	50	にぶい黄褐	未野	
第139図	27	P-15グリッド	須恵器	坏	121	60	42	30	にぶい黄橙	未野	
第139図	28	P-15グリッド	須恵器	坏	124	61	39	60	にぶい黄橙	未野	
第140図	1	I-13グリッド-d	須恵器	坏	—	61	—	30	灰白	未野	墨書「口」
第140図	2	D-25グリッド	須恵器	坏	—	64	—	40	灰オリーブ	東金子	墨書「木」
第140図	3	Q-14グリッド-c	須恵器	坏	—	67	—	10	灰白	未野	墨書「綱」
第140図	4	SB-79 Pst71	須恵器	坏	—	60	—	10	灰	未野	
第140図	5	N-16グリッド-d	須恵器	坏	—	69	—	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第140図	6	H-27グリッド	須恵器	坏	66	—	—	25	灰	未野	墨書「綱」
第140図	7	M-15グリッド K4	須恵器	坏	120	114	—	20	明オリーブ灰	未野	墨書「綱」
第140図	8	K-18グリッド-a	須恵器	坏	—	63	—	10	黄灰	南比企	刻書
第140図	9	L-18グリッド-a	須恵器	坏	61	—	—	10	灰	南比企	刻書
第140図	10	P-15グリッド	須恵器	坏	126	58	38	50	灰黄褐	未野	
第140図	11	P-15グリッド	須恵器	坏	131	58	42	40	にぶい黄橙	未野	
第140図	12	P-15グリッド	須恵器	坏	124	57	41	70	にぶい黄橙	未野	
第140図	13	O-13グリッド-b	須恵器	坏	124	57	35	35	灰	東金子	
第140図	14	SK376	須恵器	坏	122	57	35	70	灰	南比企	
第140図	15	K-23グリッド	須恵器	坏	—	62	—	40	褐	南比企	
第140図	16	4 トレンチ	須恵器	坏	—	56	—	20	オリーブ黒	未野	
第140図	17	SJ347	須恵器	坏	—	51	—	30	灰	未野	
第140図	18	SD464	須恵器	坏	127	48	45	30	灰	東金子	
第140図	19	J-16グリッド	須恵器	坏	121	43	43	95	褐灰	未野	
第140図	20	O-15グリッド-d	須恵器	坏	123	—	—	20	灰	未野	墨書「綱」
第140図	21	O-15グリッド-d	須恵器	坏	137	—	—	10	灰	未野	墨書「我」
第140図	22	L-15-16グリッド	須恵器	坏	—	—	—	5	灰	南比企	墨書「第」
第140図	23	L-16グリッド	土師器	坏A	—	—	—	5	にぶい橙	利根川	墨書「綱」
第140図	24	M-14グリッド-c	土師器	坏A	—	—	—	5	にぶい橙	ローム土	墨書「綱」
第140図	25	N-14グリッド-c	土師器	坏A	—	—	—	5	にぶい橙	ローム土	墨書「上万」
第140図	26	P-13グリッド-d	須恵器	坏	—	—	—	5	灰	南比企	墨書「綱」
第140図	27	M-16グリッド-c	須恵器	坏	—	—	—	5	にぶい橙	南比企	墨書「中」
第140図	28	SJ204	土師質土器	坏	104	57	37	40	灰白	ローム土	
第140図	29	K-20グリッド-a	土師質土器	坏	99	41	38	50	灰白	利根川	穿孔
第140図	30	SD	須恵器	坏	—	54	—	10	にぶい黄橙	ローム土	

第41表 遺物堆積層の土師器・須恵器(6)

採図番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第140図	31	H-18グリッド	須恵器	埴	156	72	56	97	灰	南比企	
第140図	32	J-14グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	103	-	20	灰	湖西	
第140図	33	D-19グリッド-d	土師貫土器	高台付埴	-	98	-	5	灰白	湖西	
第141図	1	N-17グリッド-d	須恵器	高台付埴	148	97	43	10	内-灰白 外-灰	秋間	
第141図	2	M-15グリッド	須恵器	高台付埴	-	102	-	5	灰	秋間か	
第141図	3	Q-22グリッド	須恵器	高台付埴	143	103	-	30	灰	湖西	
第141図	4	I-16グリッド	須恵器	高台付埴	-	90	-	5	灰白	秋間	
第141図	5	P-23グリッド	須恵器	高台付埴	-	-	-	10	灰白	秋間	
第141図	6	J-16グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	100	-	10	灰	末野	
第141図	7	SK251	須恵器	高台付埴	-	100	-	20	灰	末野	
第141図	8	P-22グリッド	須恵器	高台付埴	160	94	61	60	灰	末野	
第141図	9	R-16グリッド	須恵器	高台付埴	156	-	-	-	-	末野	
第141図	10	P-13グリッド-b	須恵器	高台付盤	-	132	-	10	灰白	魁の内カ	
第141図	11	試掘4トレンチ	須恵器	高台付埴	-	90	-	75	灰白	末野	
第141図	12	R-14グリッド-a	須恵器	高台付盤	-	-	-	10	灰	末野	
第141図	13	O-15グリッド-d	須恵器	高台付盤	-	103	-	5	灰	末野	
第141図	14	P-15グリッド-a	須恵器	高台付埴	125	82	-	25	内-灰白 外-灰	末野	
第141図	15	B-29グリッド SD0	須恵器	高台付埴	-	81	-	5	-	末野	
第141図	16	M-17グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	80	-	20	灰	末野	
第141図	17	P-15グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	-	-	10	灰	末野	
第142図	1	K-17グリッド	須恵器	高台付埴	114	72	43	20	灰	末野	
第142図	2	Q-15グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	-	-	10	灰	末野	IX第150図24再録
第142図	3	M-17グリッド-d	須恵器	高台付埴	-	70	-	20	灰白	末野	墨書「綱」
第142図	4	SJ151	須恵器	高台付埴	120	60	49	40	淡橙	利根川	
第142図	5	P-15グリッド-b	須恵器	高台付埴	-	70	-	55	灰	末野	刻書
第142図	6	E-25グリッド-b	須恵器	高台付埴	-	65	-	15	浅黄	末野	刻書
第142図	7	SD464	須恵器	高台付埴	134	58	-	25	内-黒 外-灰	末野	
第142図	8	I-15グリッド-c	須恵器	高台付埴	-	65	-	20	灰	末野	墨書「綱」
第142図	9	C-24グリッド SD8	須恵器	高台付埴	-	55	-	10	-	末野	V第674図11再録
第142図	10	SJ151	須恵器	高台付埴	114	-	-	20	内-黒 外-灰	利根川	
第142図	11	M-16グリッド-a	須恵器	高台付埴	-	66	-	5	にぶい黄橙	末野	
第142図	12	P-17グリッド-b	須恵器	耳皿	-	40	-	10	内-黒 外-灰	利根川	
第142図	13	K-16グリッド-c	須恵器	耳皿	-	-	-	50	浅黄橙	利根川	
第142図	14	S-17グリッド SD7	黒色土器	鉢	-	92	-	40	内-黒 外-橙	利根川	
第142図	15	SK	黒色土器	高台付埴	-	58	-	10	内-黒 外-灰	利根川	
第142図	16	7トレンチ	黒色土器	高台付埴	180	-	-	40	内-黒 外-灰	利根川	
第142図	17	SJ84	土師器	高坏	130	-	-	10	明赤褐	利根川	
第142図	18	K-17グリッド SD3	土師器	高坏	-	-	-	10	淡橙	利根川	
第142図	19	SK593	須恵器	高坏	-	-	-	5	灰	陶邑	
第142図	20	Q-14グリッド-c	須恵器	高坏	-	-	-	5	内-灰白 外-灰	末野	
第142図	21	L-14グリッド-b	須恵器	高坏	122	-	-	20	灰	末野	
第142図	22	H-19グリッド-c	須恵器	高坏	118	-	-	5	灰白	末野	
第142図	23	遺物包含層	須恵器	高坏	-	-	-	10	内-灰白 外-灰	南比企	
第142図	24	N-19グリッド-d	須恵器	高坏	-	-	-	5	黄灰	湖西	
第142図	25	K-18グリッド SD7	須恵器	高坏	-	-	-	10	灰白	湖西	
第142図	26	P-18グリッド	須恵器	高坏	-	-	-	5	灰	南比企	
第142図	27	L-14グリッド-b	須恵器	高坏	-	-	-	5	明紫灰	末野	
第142図	28	N-18グリッド-d	須恵器	高坏	-	-	-	5	黄灰	陶邑	

第42表 遺物堆積層の土師器・須恵器(7)

棟番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第142図	29	F-16グリッド-c	須恵器	高坏	-	-	-	5	褐灰	末野	
第142図	30	K-18グリッド	須恵器	高坏	-	-	-	5	灰	陶邑	
第142図	31	SK189	須恵器	高坏	-	-	-	5	灰	末野	
第143図	1	O-24グリッド	須恵器	脚付壺	-	-	-	70	赤系 外-灰+フ	秋間	
第143図	2	SK238	須恵器	短頸壺	109	-	-	10	青灰	南比企	
第143図	3	F-20グリッド	須恵器	短頸壺	89	-	-	5	灰白	南比企	
第143図	4	I-25グリッド	須恵器	脚付壺	141	-	-	5	灰	秋間	
第143図	5	SJ106	須恵器	甕	-	-	-	5	灰白	湖西	
第143図	6	M-16グリッド SD0	須恵器	甕	-	-	-	5	内-灰 外-褐灰	末野	
第143図	7	L-17グリッド SK30	須恵器	甕	-	-	-	5	灰白	猿投	
第143図	8	S-15グリッド	須恵器	甕	-	-	-	80	灰	末野	
第143図	9	E-16グリッド-d	須恵器	甕	-	-	-	5	灰黄	南比企	
第143図	10	N-14グリッド-d	須恵器	甕	-	-	-	10	赤-緑系 外-緑系	末野	
第143図	11	SJ185	須恵器	甕	-	-	-	5	褐灰	南比企	
第143図	12	SJ84	須恵器	甕	-	-	-	5	灰白	東海	
第143図	13	F-19グリッド	須恵器	平瓶	72	-	-	90	灰	末野	
第143図	14	G-20グリッド	須恵器	平瓶	68	-	-	10	灰白	湖西	
第143図	15	K-15グリッド	須恵器	平瓶	-	-	-	5	灰	末野	
第143図	16	SD374	須恵器	平瓶	91	-	-	5	赤-赤系 赤系	南比企	
第143図	17	L-13グリッド-a	須恵器	長頸瓶	60	-	-	5	灰白	湖西	
第143図	18	SK263	須恵器	平瓶	73	-	-	5	青灰	末野	
第143図	19	試掘5トレンチ	須恵器	壺G	-	-	-	5	にぶい黄橙	南比企	
第143図	20	O-25グリッド	須恵器	小壺	-	-	-	25	赤-赤系 赤系	末野	
第143図	21	G-18グリッド-d	須恵器	小壺	-	37	-	75	暗青灰	末野	
第143図	22	K-18グリッド-c	須恵器	小壺	-	59	-	40	灰白	南比企	
第143図	23	N-17グリッド	須恵器	小壺	-	51	-	25	灰	南比企	
第143図	24	L-16グリッド-c	須恵器	円面硯	-	-	-	5	灰	南比企	
第143図	25	Q-15グリッド-c	須恵器	円面硯	-	-	-	5	灰	南比企	
第143図	26	J-18グリッド-b	須恵器	円面硯	114	-	-	10	灰	南比企	線刻
第143図	27	N-14グリッド-d	須恵器	円面硯	-	-	-	5	灰	南比企	
第143図	28	K-14グリッド-c	須恵器	円面硯	-	-	-	5	灰	南比企	
第143図	29	遺物包含層	須恵器	円面硯	-	-	-	5	灰	南比企	
第143図	30	L-15グリッド-d	須恵器	風字硯	-	-	-	5	上-黄 下-灰	南比企	
第143図	31	M-14グリッド-b	須恵器	風字硯	-	-	-	10	灰	南比企	
第143図	32	L-14グリッド-d	須恵器	二面風字硯	-	-	-	20	上-赤黄 下-灰	南比企	
第144図	1	K-17グリッド	須恵器	コップ形土器蓋	94	-	34	50	内-褐灰 外-灰	南比企	
第144図	2	I-15グリッド	須恵器	コップ形土器蓋	97	-	-	50	灰	南比企	
第144図	3	E-19グリッド	須恵器	コップ形土器蓋	89	-	-	15	内-灰 外-灰白	南比企	
第144図	4	G-21グリッド	須恵器	コップ形土器	84	69	78	25	灰	南比企	
第144図	5	M-14グリッド-b	須恵器	壺G	-	60	-	40	灰	東金子	
第144図	6	C-18グリッド-b	須恵器	こね鉢	170	122	140	60	灰	南比企	
第144図	7	遺物包含層	須恵器	仏鉢模倣土器	204	-	-	5	灰	南比企	
第144図	8	SJ372	土師器	有段口鉢鉢	112	142	-	30	浅黄橙	利根川	
第144図	9	N-19グリッド-d	土師器	比企型鉢	203	-	-	5	にぶい褐	利根川	
第144図	10	L-20グリッド	須恵器	提瓶	-	-	-	5	灰	不詳	
第144図	11	U-19グリッド SD	須恵器	フラスコ形瓶	-	-	-	5	灰白	湖西	
第144図	12	遺物包含層	須恵器	フラスコ形瓶	-	-	-	5	褐灰	湖西	
第144図	13	M-15グリッド	須恵器	フラスコ形瓶	77	-	-	10	灰白	湖西	

第43表 遺物堆積層の土師器・須恵器(8)

棟号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第144図	14	C-14グリッド-d	須恵器	長頸瓶	—	—	—	10	灰	湖西	区第151図16再録
第144図	15	試掘3トレンチ	須恵器	長頸瓶	—	—	—	10	灰	湖西	
第144図	16	D-14グリッド 7e1	須恵器	長頸瓶	51	—	—	5	灰	東海	
第144図	17	SK238	須恵器	長頸瓶	—	—	—	5	にぶい黄橙	末野	
第144図	18	J-17グリッド-d	須恵器	長頸瓶	—	108	—	5	灰	東海	
第144図	19	遺物包含層	須恵器	長頸瓶	—	178	—	5	褐灰	末野	
第145図	1	L-13グリッド S33	土師器	瓶	248	—	—	20	黄灰	利根川	
第145図	2	SJ166 Pt06	土師器	瓶	—	—	—	5	にぶい橙	利根川	
第145図	3	L-19グリッド-a	土師器	瓶	—	—	—	5	橙	利根川	
第145図	4	SJ373	土師器	壺	234	—	—	5	赤灰	利根川	
第145図	5	SJ372	土師器	壺	189	—	—	10	赤-黒 赤-胎	利根川	
第145図	6	SJ342・カマド	土師器	壺	161	58	289	80	灰白	利根川	
第145図	7	SJ84	土師器	壺	190	—	—	—	赤-黒 赤-縹	利根川	
第145図	8	SJ360	土師器	壺	192	—	—	10	褐	利根川	
第145図	9	L-13グリッド S33	土師器	壺	120	—	—	20	褐灰	利根川	
第145図	10	SJ342 カマド	土師器	壺	206	—	—	30	灰白	利根川	
第145図	11	F-17グリッド SK25	土師器	壺	202	—	—	10	浅黄橙	利根川	
第145図	12	SJ205 カマド	土師器	壺	197	—	—	30	灰黄	利根川	
第145図	13	SJ204	土師器	壺	177	—	—	10	灰白	利根川	
第145図	14	SJ205 カマド	土師器	壺	196	—	—	30	赤-黒 赤-胎	利根川	
第145図	15	SJ71	土師器	壺	217	—	—	10	灰白	利根川	
第145図	16	SK43	土師器	壺	212	40	267	70	橙	利根川	
第146図	1	SD403	土師器	壺	186	—	—	5	灰白	利根川	
第146図	2	SD464	土師器	壺	208	—	—	5	にぶい黄橙	利根川	
第146図	3	SJ138カマド	土師器	壺	198	—	—	10	灰白	利根川	
第146図	4	試掘1トレンチ	土師器	羽釜	228	—	—	5	赤-黒 赤-胎	利根川	
第146図	5	SJ377カマド	土師器	羽釜	245	—	—	30	赤-黒 赤-胎	末野	
第146図	6	L-19グリッド-a	土師器	獸蹄	—	—	—	5	にぶい橙	ローム土	
第146図	7	C-17グリッド-d	須恵器	支脚	—	—	—	5	にぶい黄橙	利根川	
第146図	8	C-18グリッド	須恵器	壺	240	—	—	5	赤-黒 赤-胎	南比企	
第146図	9	G-13グリッド SD07	須恵器	壺	280	—	—	20	灰	南比企	
第146図	10	SK190・191	須恵器	頸部補強帯大壺	—	—	—	5	灰	末野	
第146図	11	L-17グリッド-c	須恵器	頸部補強帯大壺	—	—	—	5	灰	末野	
第146図	12	L-21グリッド-a	須恵器	頸部補強帯大壺	—	—	—	5	褐灰	末野	
第146図	13	SK627	須恵器	壺	—	—	—	5	灰	南比企	



## ii 灰釉陶器

### (1) 組成について

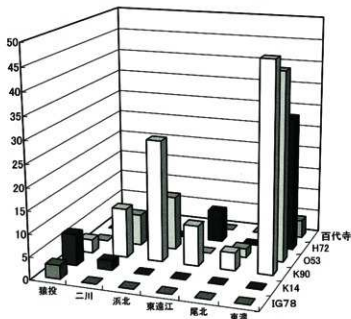
北島遺跡第19地点からは、豊富な灰釉陶器が出土した。このうち実測個体は、245点に及ぶ。この出土量は、見玉郡上里町中廻遺跡や大里郡妻沼町飯塚南遺跡と並び県内有数の消費量を誇る。

その内訳は、13点（6%）が、猿投窯跡群の製品。21点（8%）が、二川窯跡群の製品。39点（16%）が、浜北地方の製品。40点（16%）が、東遠江地方の製品。6点（2%）が、尾北窯跡群の製品。そして135点（53%）が、東濃地方の製品である。

全体の過半数が、東濃地方の製品である。型式ごとの変化は、黒笹90号窯式（光ヶ丘1号窯式）段階に急速な消費量の上昇があり、その後徐々に消費量を減少し、百代寺段階には、ほとんどなくなる。

型式ごとの消費量をたどると、井ヶ谷78号窯式が3点、黒笹14号窯式が9点、黒笹90号窯式（光ヶ丘1号窯式）が100点、折戸53号窯式（大原2号窯式）63点、東山72号窯式（虎渓山1号窯式）38点、百代寺窯式（丸石2号窯式）が4点となる。

より詳しい消費量の変化を第147図で説明したい。第19地点では、井ヶ谷78号窯式・黒笹14号窯式は、



第147図 灰釉陶器産地別消費量の推移

第44表 灰釉陶器の器種別集計表

器種	IG78	K14	K90	O53	H72	百代寺	不詳
平瓶		1					
埴		1					
輪花埴			1				
手付き小瓶		2	1				1
長頸瓶		3					
淨瓶	1						
耳皿		1					3
手付き長頸瓶				1			
小瓶				1			

器種	K14	K90	O53	H72	百代寺
長頸瓶		3	2	1	
皿	2	2	1		
蓋		1			
埴		4	2		
小瓶		1			
輪花皿				2	

器種	K14	K90	O53	H72	百代寺
皿			9	3	
長頸瓶			4	3	
埴			14	7	

器種	K14	K90	O53	H72	百代寺
埴		6	18	3	
皿		2	4	2	
長頸瓶		1	2	1	
輪花埴				1	

器種	K14	K90	O53	H72	百代寺
皿		2			
埴		2	2		

器種	光ヶ丘1	大原2	虎渓山1	丸石2	不詳
埴	22	27	15	1	1
皿	17	13	11	3	
長頸瓶	5	3	5		2
耳皿	2	1			
小瓶	2	1			
短頸壺		1			
蓋		1			
段皿		1			
輪花埴	1				

第45表 灰釉陶器集計表

産地	IG78	K14	K90	O53	H72	百代寺
猿投	1	8	4	0	0	0
二川	0	2	11	7	1	0
浜北	0	0	27	13	0	0
東遠江	0	0	9	24	7	0
尾北	0	0	4	2	0	0
東濃	0	0	51	49	31	4

猿投窯跡群の製品のみをごく僅か消費していた。しかし黒笹90号窯式段階になると、各窯跡群の製品が消費されるようになる。この段階で東濃地方の製品が、他を圧倒して豊富に消費された。この東濃製品優位の傾向は、最後まで続くこととなる。

東濃地方以外では、浜北窯跡群、東遠江・二川等諸窯の製品が消費された。消費量は、三地方の製品を併せてはじめて東濃の製品に並ぶ程度であった。この傾向は、後に述べるが、北武蔵の他の灰軸陶器を消費した遺跡の実態と大差はない。

続く折戸53号窯式段階には、東濃製品以外が急速に減少し、東濃地方製品の半分の消費にとどまる。東濃地方の製品は、51点から49点と消費量に変化はない。しかし他地方の製品が入りにくくなったことで、相対的な減少となったのである。

この傾向は、東山72号窯式の段階まで継続した。つまり東濃地方の製品は、49点から31点へと減少しつつも灰軸陶器の主体であった。他の窯跡群の製品、とくに東遠江地方の製品が、見られるようになる。そして丸石2号窯式段階になると、ついに東濃地方の製品が、4点になってしまうのである。

## (2) 遺物堆積層の灰軸陶器

第148図は、平安時代の遺構確認面上に出土した灰軸陶器を、小グリッドごとに分布図で表した。また図化した灰軸陶器の内訳は、蓋1点、皿類44点(皿42点、耳皿3点)、埴類63点(埴62点、輪花埴1点) 瓶類32点(手付き小瓶2点、小瓶3点、フラスコ形瓶2点、短頸壺1点、長頸瓶23点)の139点にはなる。

全体に占める各器種の割合は、皿類が32%、埴類が45%、瓶類が23%である。圧倒的に埴・皿類が多く、75%を占めるが、長頸瓶の中には図化しにくい破片が、存在することも忘れてはならない。

以下、遺物堆積層から出土した灰軸陶器について概略を述べることとする。なお、第149図1～7は、猿投窯跡群、同図8～20は東三河地方の製品(二川

窯跡群)、第149図21～第150図16は、浜北地方の製品(宮口窯跡群)、同図17～第151図11は、東遠江の製品、同図12～16は、東海西部の製品、同図17～第154図5は、東濃地方の製品である。

### 猿投窯跡群の製品

第149図1は、無台の耳皿である。耳部が欠損する。2・3は、手付き小瓶の破片である。4は、小瓶の底部である。2・3の底部かもしれない。5～7は、長頸瓶である。5は、頸部の内外面にハケヌリが施される。6の胴部には、外面にハケヌリがみられる。7は、高台部の破片である。7は、井ヶ谷78号窯式、1・5・6は、黒笹14号窯式、2・4は、黒笹90号窯式である。

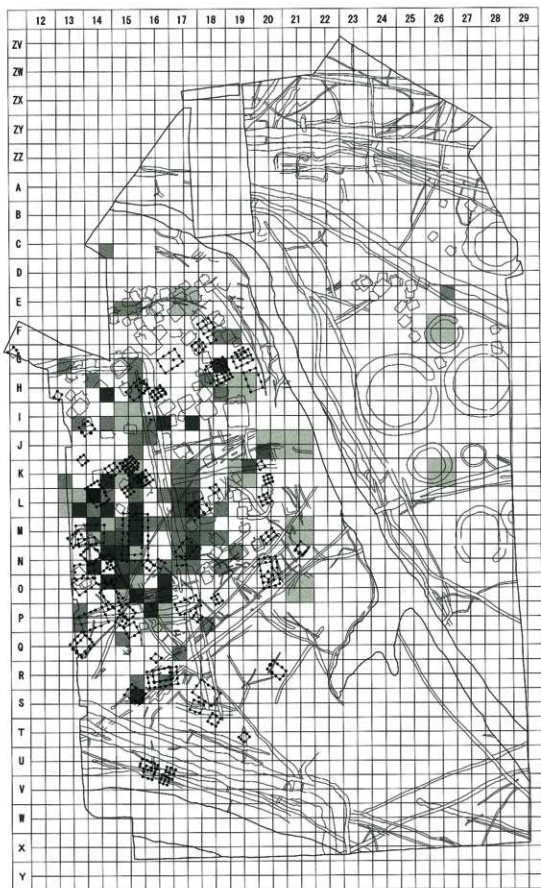
### 東三河地方の製品

第149図8～11は、埴である。8は、内外面ハケヌリを施した口縁部である。9から12は、高台部の資料である。9は、内外面ハケヌリの他、底部内面に一筆施されている。10は、内面にハケヌリ、11は、ツケガケによって施軸されている。

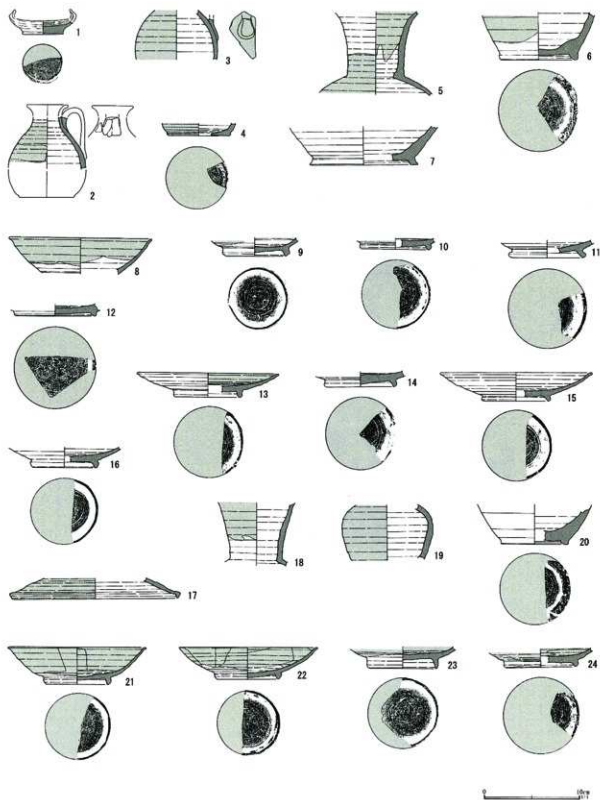
13～16は、皿である。13は、内面にハケヌリ、15は、ツケガケによって施軸をする。17は、蓋である。天井部に降灰が見られる。18～20は、長頸瓶である。18の口縁部外面には、ハケヌリが施される。19・20は、小形の長頸瓶である。12は、黒笹14号窯式、8～10・13・14・17・18は、黒笹90号窯式、11・15・16・19は、折戸53号窯式、20は、東山72号窯式である。

### 浜北地方の製品

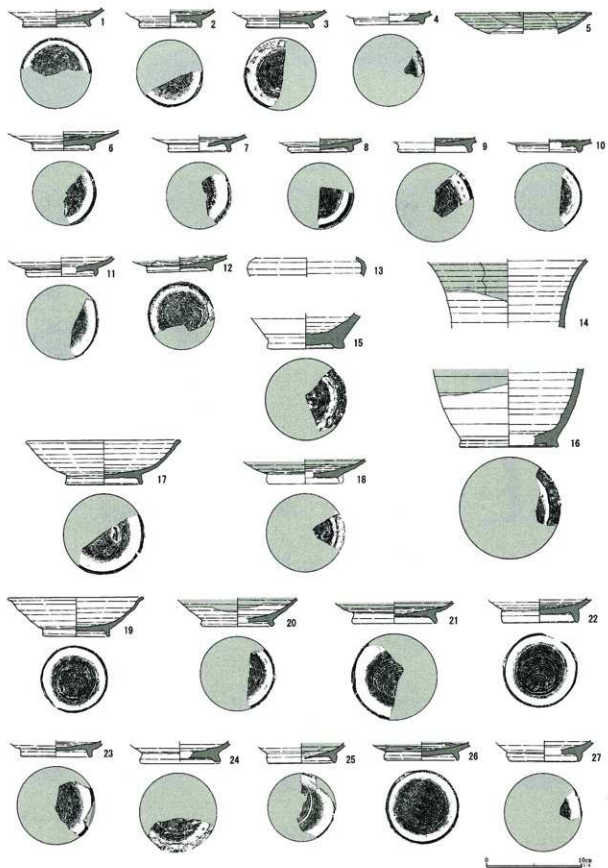
第149図21・23・24～第150図1～4・10は、埴である。また第149図22、第150図5～9・11・12は、皿である。第149図21～24、第150図5～10は、内外面ハケヌリである。とくに第149図23、第150図6・10は、見込みに一筆のハケヌリがある。また第150図2・4・11・12は、ツケガケによる施軸である。



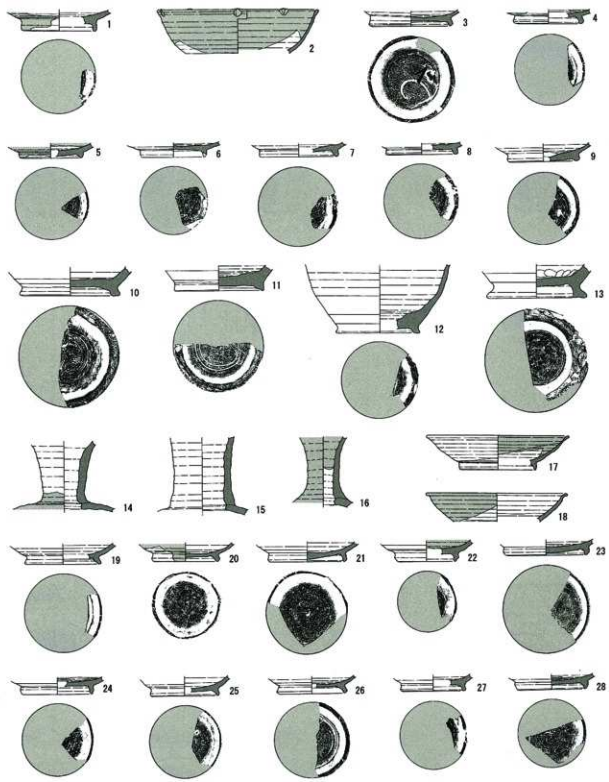
第148図 灰釉陶器の等密分布



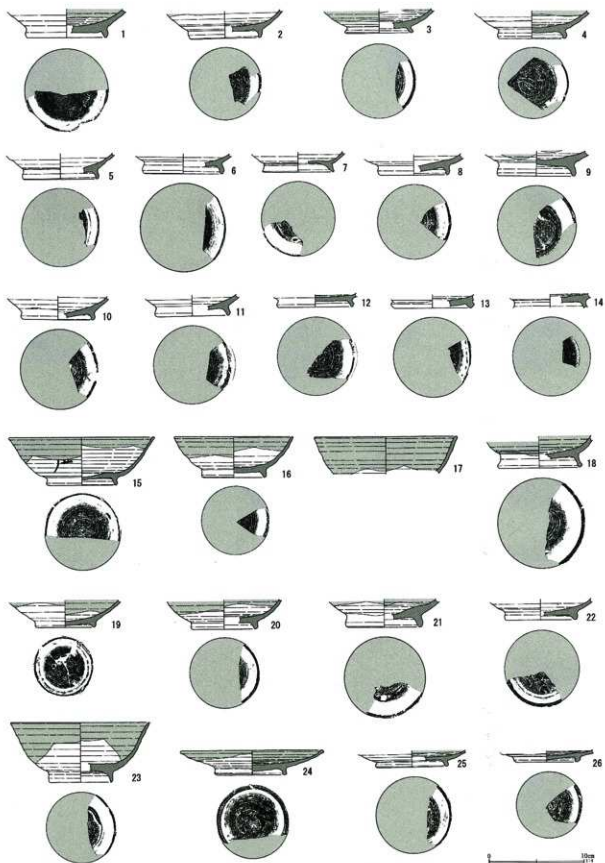
第149図 遺物堆積層の出土遺物 (14) 灰釉陶器 (1)



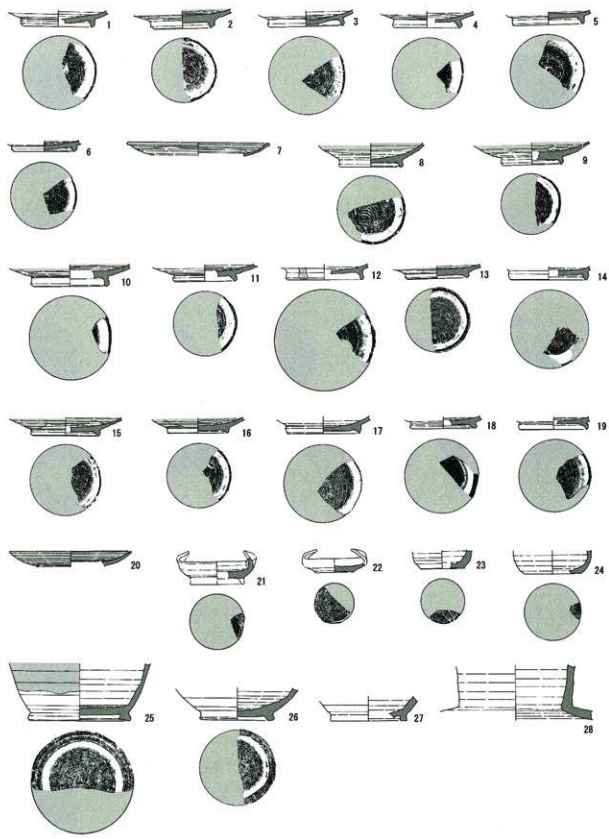
第150図 遺物堆積層の出土遺物 (15) 灰釉陶器 (2)



第151図 遺物堆積層の出土遺物 (16) 灰釉陶器 (3)

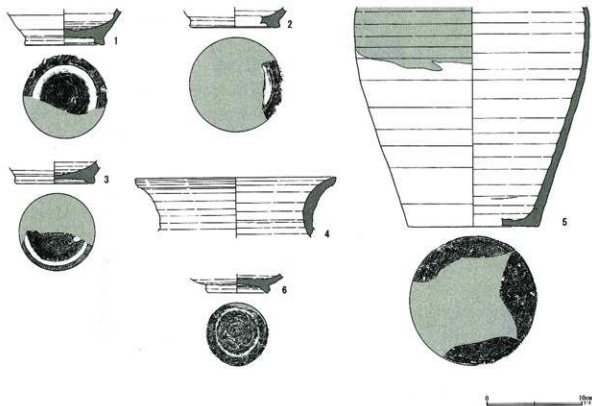


第152図 遺物堆積層の出土遺物 (17) 灰釉陶器 (4)



第153図 遺物堆積層の出土遺物 (18) 灰釉陶器 (5)





第154図 遺物堆積層の出土遺物 (19) 灰釉陶器 (6)

第150図13～16は、長頸瓶である。13は、長頸瓶の肩部である。14は、広口長頸瓶であり、口縁部にハケヌリが施される。16は、胴上半にハケヌリがみられる。

第149図21～24、第150図5～10・14・15は、黒笹90号窯式、第150図1～4・11～13・16は、折戸53号窯式である。

#### 東遠江地方の製品

第150図17～第151図4は、埴である。17・19は、完形に復元できたが、他は底部から口縁部にかけての資料である。とくに第151図2は、口唇部に笊状工具で五弁の輪花を施す。第150図26、第151図1のみ、内外面ハケヌリである。第150図17～21、第151図2は、ツケガケである。

第151図5～9は、皿である。5のみ施釉方法が、ツケガケと分かる。第151図10・11は、長頸瓶である。高台部の資料である。第150図26～第151図1は、

黒笹90号窯式、第150図17～25、第151図5～8・11は、折戸53号窯式、第151図2～4・9は、東山72号窯式である。

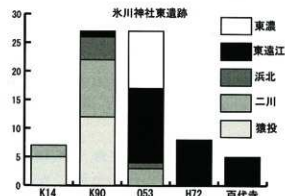
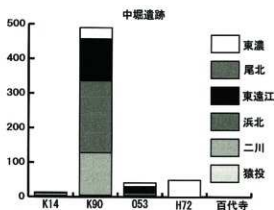
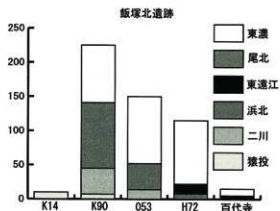
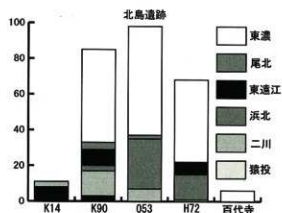
#### 東海地方西部の製品

第151図12～16は、東海地方西部の製品である。12～14は長頸瓶、15・16は、フラスコ形瓶である。12～14は9世紀、15・16は、7世紀の土器である。

#### 東濃地方の製品

第151図17～第152図23は、埴である。第152図24～第153図20は、皿である。輪花の付く製品はみられない。全体を復元できたのは、第152図15・16・23である。

第151図17・18・20～22・24・28、第152図25～第153図4・6は、内外面ハケヌリである。なかでも第151図22、24、28、第152図26～第153図4の見込みには、一筆のハケヌリが施される。また第152図



第155図 北島遺跡他の産地別消費量の推移

1・2・4・8・9・16~20・22・23、第153図7~10、第153図13~16・20は、ツケガケによって施釉される。

第153図21・22は、耳皿である。23・24は、小瓶である。25~第154図4は、短頸壺である。5は、長頸瓶である。高台が付かない。広口の瓶となるのであろう。

第151図17~28、第152図24~第153図6・21・23・25は、光ヶ丘1号窯式である。第152図1~14、第153図7~14・22・24・26・27、第154図5は、大原2号窯式である。第152図15~22、第153図15~19・28、第154図1~4は、虎渓山1号窯式である。第152図23、第153図20は、丸石2号窯式である。

### (3) 北島遺跡の灰釉陶器

古代の遺物堆積層から出土した遺物を含め、これまでの調査で北島遺跡から出土した灰釉陶器と、埼玉県内のいくつかの遺跡を比較しておきたい。

第155図は、灰釉陶器が豊富に出土した妻沼町飯塚北遺跡と上里町中堀遺跡、そしてやや少ないが、さいたま市水川神社東遺跡の産地別消費量の推移を示した。

資料数は、上里町中堀遺跡が830点、妻沼町飯塚北遺跡が515点、熊谷市北島遺跡が268点、水川神社東遺跡が74点である。

ちなみに武蔵国の一般的な平安時代の集落では、灰釉陶器は、一・二点しか消費されない。この四遺跡は、破格の消費量といえよう。産地別消費動向が明らかにしたように流通経路、つまり獲得手段が大きく異なる。地理的には、①武蔵国内で最も上野国府に近い中堀遺跡、②武蔵国府と上野国府、下野国府のほぼ中間の飯塚北遺跡や北島遺跡、③武蔵国府や下総国府に近い水川神社東遺跡となる。

つまり東山道に近い中堀遺跡・飯塚北遺跡・北島遺跡では、東山道を経由した東濃地方の製品が消費され、東海道に近い水川神社東遺跡では、猿投窯跡群の製品をはじめ、二川・浜北・東濃江地方の製品

が消費されたはずである。

ところが実態は、各遺跡・各時期の事情で入手経路が、異なっていたのである。以前に明らかにしたように中堀遺跡では、黒笹90号窯段階に二川・浜北・東遠江地方の製品が、大量に供給され、その前後は、50点に満たない。

これは、中堀遺跡が、武蔵国府の管掌を受ける勅旨田の経営拠点であったため、武蔵国府が、入手しやすい東海道諸国の窯で生産された製品を供給したからである。

これとは対照的に北島遺跡や飯塚北遺跡では、黒笹90号窯式から東山72号窯式にかけて、東濃地方の諸窯で生産された灰釉陶器が半数以上であった。上野国府を目指し、東山道を經由して運ばれた東濃地方の製品を獲得したのであろう。

注意しなくてはならないのは、両遺跡で消費され

た三分の一から半数が、東濃以外の東海道諸国の窯で生産されたことである。両遺跡の人々は、灰釉陶器の獲得にあたって、上野や下野との交通を保ちながら、武蔵国府との交通も重視していたのである。

これに対し永川神社東遺跡は、東濃地方の灰釉陶器は、大原2号窯式の一時期かぎりである。

とくに大原2号窯式以降、東濃江地方の製品が、主体的となるのは、武蔵国南部に共通する。三河・遠江産の製品が主に消費され、同じ地域的交易圏の蓮田市椿山遺跡や川口市二軒在家遺跡なども三河・遠江産の製品を消費していた。おそらく相模や房総を經由して流通したと考えたい。

このような灰釉陶器の大量消費遺跡にあつては、その入手経路は大変複雑であり、今後、地域の開発史や政治的動向とともに解明して行く必要がある。

第46表 遺物堆積層の灰釉陶器(1)

探図番号	図の番号	グリップ	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	施釉	底部	産地	備考
第149図	1	遺物堆積層	耳皿	110	45	15	30	灰	K14	内面ハケヌリ	糸切り	猿投	
第149図	2	M17	手付き小瓶	—	—	—	15	灰	K90	外面ハケヌリ	—	猿投	V第687図11再録
第149図	3	K15d	手付き小瓶	—	—	—	5	灰-黒 黒-117-78	K90	外面ハケヌリ	—	猿投	
第149図	4	M16b	小瓶	—	64	—	5	灰	K90	外面ハケヌリ	糸切り	猿投	
第149図	5	L17d	長頸瓶	—	—	—	10	灰白	K14	内外面ハケヌリ	糸切り	猿投	
第149図	6	L14a	長頸瓶	—	83	—	10	灰白	K14	外面ハケヌリ	糸切り	猿投	
第149図	7	M18d	長頸瓶	—	116	—	5	灰白	IG78	—	—	猿投	
第149図	8	P16a	壺	148	—	—	10	灰白	K90	内外面ハケヌリ	—	二川	
第149図	9	L16b	壺	—	71	—	25	灰	K90	内面ハケヌリ-■	ヘラケズリ	二川	
第149図	10	I15	壺	—	75	—	10	灰白	K90	内面ハケヌリ	ヘラケズリ	二川	
第149図	11	O16c	壺	—	81	—	5	灰白	O53	ツケガケ	ヘラケズリ	二川	
第149図	12	N17	皿	—	86	—	5	灰	K14	—	ヘラケズリ	二川	
第149図	13	I16c	皿	150	73	25	25	灰白	K90	内面ハケヌリ	ヘラケズリ	二川	
第149図	14	M21	皿	—	76	—	10	灰白	K90	—	ヘラケズリ	二川	
第149図	15	N15a	皿	159	73	30	30	灰白	O53	ツケガケ	ヘラケズリ	二川	
第149図	16	L13	壺	—	72	—	10	灰白	O53	—	糸切り	二川	
第149図	17	L17	壺	173	—	—	5	灰白	K90	外面ハケヌリ	—	二川	
第149図	18	O15	長頸瓶	—	—	—	5	灰	K90	外面ハケヌリ	—	二川	
第149図	19	L14d	長頸瓶	—	—	—	10	灰	O53	外面ハケヌリ	—	二川	
第149図	20	K19b	長頸瓶	—	72	—	5	灰白	H72	—	—	二川	
第149図	21	O15d	壺	141	70	39	30	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	
第149図	22	R16d	壺	146	70	33	60	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	
第149図	23	O16b	壺	—	75	—	20	灰白	K90	内面ハケヌリ-■	ヘラケズリ	浜北	
第149図	24	N17b	壺	—	79	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	
第150図	1	N15	壺	—	72	—	20	灰白	O53	—	糸切り	浜北	

第47表 遺物堆積層の灰粘陶器(2)

採掘番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	施軸	底部	産地	備考
第150図	2	L14a	埴	—	67	—	10	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	浜北	
第150図	3	G15d	埴	—	72	—	20	灰白	O53	—	糸切り	浜北	
第150図	4	L14a	埴	—	76	—	5	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	浜北	
第150図	5	S15b	皿	140	—	—	15	灰白	K90	内外面ハケヌリ	—	浜北	
第150図	6	L14c	皿	—	66	—	20	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	浜北	
第150図	7	M14d	皿	—	67	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	
第150図	8	J21	皿	—	62	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	区第79図24再録
第150図	9	O15a	皿	—	79	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラ切り	浜北	
第150図	10	M14	埴	—	70	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	浜北	
第150図	11	O15d	皿	—	76	—	10	灰白	O53	ツケガケ	ヘラケズリ	浜北	
第150図	12	L14d	皿	—	70	—	20	灰	O63	ツケガケ	糸切り	浜北	
第150図	13	M15	長頸瓶	—	—	—	5	灰	O53	—	—	浜北	
第150図	14	G18d	長頸瓶	—	—	—	5	浅黄	K90	外面ハケヌリ	—	浜北	
第150図	15	P18c	長頸瓶	—	105	—	5	灰白	K90	—	ヘラケズリ	浜北	
第150図	16	K19	長頸瓶	—	81	—	5	灰白	O53	外面ハケヌリ	ヘラケズリ	浜北	
第150図	17	M14a	埴	155	81	46	30	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第150図	18	M15	埴	137	70	41	50	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第150図	19	L13d	埴	—	—	—	5	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第150図	20	H15d	埴	—	80	—	5	灰	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第150図	21	J15b	埴	—	88	—	10	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第150図	22	L15d	埴	—	82	—	20	黄灰	O53	—	糸切り	東遠江	
第150図	23	I16d	埴	—	76	—	10	灰白	O53	—	糸切り	東遠江	
第150図	24	Q15a	埴	70	39	12	80	灰白	O53	—	糸切り	東遠江	区第142図2再録
第150図	25	E15c	埴	—	71	—	10	灰白	O53	—	糸切り	東遠江	
第150図	26	N15d	埴	—	80	—	20	灰	K90	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東遠江	
第150図	27	N15c	埴	—	80	—	5	灰白	K90	—	ヘラケズリ	東遠江	
第151図	1	M18c	埴	—	78	—	5	灰白	K90	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東遠江	
第151図	2	L15b	輪花埴	166	—	—	15	灰白	H72	ツケガケ	—	東遠江	
第151図	3	M17	埴	—	89	—	20	灰白	H72	—	糸切り	東遠江	
第151図	4	M15b	埴	—	74	—	5	灰	H72	—	糸切り	東遠江	
第151図	5	L14a	皿	—	68	—	5	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東遠江	
第151図	6	L14a	皿	—	70	—	5	灰白	O53	—	ヘラケズリ	東遠江	
第151図	7	M15b	皿	—	83	—	5	黄灰	O53	—	糸切り	東遠江	
第151図	8	M15d	皿	—	76	—	5	灰白	O53	—	糸切り	東遠江	
第151図	9	O16b	皿	—	76	—	5	灰白	H72	—	糸切り	東遠江	
第151図	10	H14a	長頸瓶	—	104	—	5	灰	K90	—	ヘラケズリ	東遠江	
第151図	11	E15d	長頸瓶	—	94	—	5	灰白	O53	—	糸切り	東遠江	
第151図	12	N19a	長頸瓶	—	89	—	5	灰	—	—	—	東海西部	
第151図	13	F26	長頸瓶	—	106	—	5	灰	—	—	ヘラケズリ	東海西部	
第151図	14	L18d	長頸瓶	—	—	—	5	灰	—	外面ハケヌリ	—	東海西部	
第151図	15	E17	フラスコ形瓶	—	—	—	5	灰	7世紀	—	—	東海西部	V第332図5再録
第151図	16	C14d	フラスコ形瓶	—	—	—	5	灰	7世紀	自然軸	—	東海西部	区第144図14再録
第151図	17	R16d	埴	147	—	—	15	灰	光ヶ丘1	内外面ハケヌリ	—	東濃	
第151図	18	O16d	埴	147	—	—	10	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケヌリ	—	東濃	
第151図	19	O14b	埴	—	80	—	5	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第151図	20	Q17c	埴	—	72	—	20	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東濃	
第151図	21	G18d	埴	—	84	—	25	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東濃	
第151図	22	N15a	埴	—	68	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東濃	

第48表 遺物堆積層の灰粘陶器(3)

神田番号	国の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	施軸	底部	産地	備考
第151回	23	M17d	埴	—	90	—	10	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第151回	24	K2b	埴	—	77	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第151回	25	O15d	埴	—	73	—	10	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第151回	26	O16d	埴	—	74	—	10	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第151回	27	N14c	埴	—	70	—	5	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第151回	28	K15d	埴	—	73	—	10	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第152回	1	J20	埴	—	83	—	10	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	V第469回11再録
第152回	2	M15d	埴	—	79	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	3	F18b	埴	—	72	—	20	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	4	I14d	埴	—	73	—	20	灰白	大原2	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	5	N17b	埴	—	80	—	5	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	6	遺物堆積層	埴	—	87	—	5	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	7	H19	埴	—	75	—	5	灰白	大原2	—	糸切り	東濃	
第152回	8	P16	埴	—	76	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第152回	9	J20c	埴	—	82	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	第79回26再録
第152回	10	O21	埴	—	78	—	10	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	11	M16a	埴	—	80	—	5	灰黄	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	12	H14d	埴	—	82	—	5	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第152回	13	L15d	埴	—	80	—	5	浅黄	大原2	—	糸切り	東濃	
第152回	14	N14b	埴	—	—	—	5	灰白	大原2	—	糸切り	東濃	
第152回	15	N17	埴	151	75	50	30	青-灰 黄-白	虎渓山1	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	16	L15d	埴	125	68	43	20	灰白	虎渓山1	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	17	H18a	埴	150	—	—	10	灰白	虎渓山1	ツケガケ	—	東濃	
第152回	18	N14b	埴	—	89	—	10	灰白	虎渓山1	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	19	I17d	埴	—	64	—	30	灰	虎渓山1	ツケガケ	糸切り	東濃	
第152回	20	J16a	埴	—	71	—	10	灰白	虎渓山1	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	21	J15d	埴	—	80	—	10	灰白	虎渓山1	—	糸切り	東濃	
第152回	22	H15b	埴	—	75	—	10	灰白	虎渓山1	ツケガケ	糸切り	東濃	
第152回	23	H18d	埴	146	66	63	25	灰白	丸石2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第152回	24	N17	皿	145	76	26	40	オリーブ 灰	光ヶ丘1	内外面ハケスリ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	25	I16d	皿	—	77	—	10	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ	ヘラケズリ	東濃	
第152回	26	K17	皿	—	70	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第153回	1	L17c	皿	—	78	—	10	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第153回	2	N16d	皿	—	68	—	10	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第153回	3	O15a	皿	—	81	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第153回	4	K15d	皿	—	73	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ一筆	ヘラケズリ	東濃	
第153回	5	K17	皿	—	76	—	5	灰白	光ヶ丘1	—	ヘラケズリ	東濃	
第153回	6	L17a	皿	—	69	—	5	灰白	光ヶ丘1	内外面ハケスリ	ヘラケズリ	東濃	
第153回	7	M17	皿	147	—	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	—	東濃	
第153回	8	P16a	皿	—	68	—	20	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153回	9	K13c	皿	—	65	—	10	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153回	10	N14c	皿	—	83	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	ヘラケズリ	東濃	
第153回	11	O14b	皿	—	67	—	5	灰白	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第153回	12	遺物堆積層	皿	—	88	—	5	灰白	大原2	—	糸切り	東濃	
第153回	13	L13d	皿	—	68	—	20	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153回	14	M18a	皿	—	81	—	5	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153回	15	G13c	皿	—	71	—	10	灰黄	虎渓山1	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153回	16	F19c	皿	—	65	—	5	灰黄	虎渓山1	ツケガケ	糸切り	東濃	

第49表 遺物堆積層の灰釉陶器(4)

挿図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	施釉	底部	産地	備考
第153図	17	P13d	皿	—	80	—	10	灰白	虎渓山1	—	糸切り	東濃	
第153図	18	N18d	皿	—	71	—	5	灰	虎渓山1	—	ヘラケズリ	東濃	
第153図	19	S15b	皿	—	—	—	5	灰白	虎渓山1	—	ヘラケズリ	東濃	
第153図	20	L14b	皿	127	—	—	15	灰白	丸石1	ツケガケ	—	東濃	
第153図	21	I17a	耳皿	(84)	57	24	20	灰白	光ヶ丘1	—	—	東濃	
第153図	22	M15c	耳皿	—	40	—	25	灰白	大原2	ツケガケ	糸切り	東濃	
第153図	23	L17b	小瓶	—	46	—	5	灰白	光ヶ丘1	—	糸切り	東濃	
第153図	24	I13d	小瓶	—	60	—	5	灰白	大原2	—	糸切り	東濃	
第153図	25	M14a	長頸瓶	—	78	—	5	灰	光ヶ丘1	外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東濃	
第153図	26	K14d	長頸瓶	—	108	—	10	灰	大原2	—	ヘラケズリ	東濃	
第153図	27	K15	長頸瓶	—	82	—	5	灰	大原2	—	—	東濃	V第58図2再録
第153図	28	E26b	長頸瓶	—	—	—	5	灰白	虎渓山1	—	—	東濃	
第154図	1	M15	長頸瓶	—	84	—	5	青-灰	虎渓山1	—	ヘラケズリ	東濃	
第154図	2	H14d	長頸瓶	—	95	—	5	灰白	虎渓山1	—	—	東濃	
第154図	3	P13b	長頸瓶	—	85	—	5	灰白	虎渓山1	—	糸切り	東濃	
第154図	4	L17c	長頸壺	210	—	—	5	灰白	虎渓山1	—	—	東濃	
第154図	5	K14d	長頸瓶	—	139	—	25	灰白	大原2	外面ハケヌリ	ヘラケズリ	東濃	
第154図	6	N15	皿	—	68	—	20	灰白	O53	ツケガケ	糸切り	東濃江	

### iii 緑釉陶器

#### (1) 組成について

北島遺跡第19地点から出土した緑釉陶器は、434点(破片数)に及び、県内では、児玉郡上里町中堀遺跡や大里郡妻沼町飯塚南遺跡と並ぶ出土量である。その内訳は、365点(85%)が、猿投窯跡群の製品。67点(15%)が、尾北窯跡群の製品。そして僅か2点、東濃地方の製品である。

窯式ごとに傾向をみると、黒笹90号窯式が、99%を占め、残りは大原2号窯式と虎渓山1号窯式の製品である。また型式を限定できない破片が、308点ある。これらは、この比率で90%以上が、黒笹90号窯式の製品と考えたい。

なお、黒笹90号窯式の内訳は、105点(85%)が、猿投窯跡群の製品。19点(15%)が、尾北窯跡群の製品である。

次に器種の構成比率についてみる。猿投窯跡群の黒笹90号窯式は、皿・段皿・稜皿などの皿類が12%、壺・輪花付壺・稜壺などの壺類は58%、小瓶は、僅か2%である。この他に陶片が、28%(103点)あるが、内外面に施釉が見られることや、器内の厚さ

が、壺・皿類と共通することから、全て壺・皿類と考えたい。つまり壺類は、皿類の五倍の破片資料が見られ、瓶類はごく僅かということなる。

ところが尾北窯跡群の黒笹90号窯式段階では、大きく異なる。皿・段皿・稜皿などの皿類は、実に83%、壺・稜壺などの壺類は、僅かに10%に過ぎない。

このように尾北窯跡群の製品と猿投窯跡群の製品では、壺と皿の組成比が大きく異なる。しかし入手経路や購入目的によって、両者の組成に差が生まれたのであろう。

単純に消費者が、猿投窯跡群の製品は壺、尾北窯跡群の製品は皿を欲したのではなく、使用目的に応じて購入され、その累積が、このような結果を生んだといえよう。

#### (2) 遺物堆積層の緑釉陶器

第161図は、平安時代の遺構確認面上に出土した緑釉陶器の等密分布図である。北島遺跡第19地点では、遺構確認面上に10cmから20cmほど黒色土が堆積し、この中から大量の土師器・須恵器とともに緑釉陶器や灰釉陶器が出土した。

遺物は、小グリッド（5m×5m）ごとに取り上げた。このデータ（破片数）をグリッドごとに置き換え表示した。

また第158図では、グリッドごとの出土数を3D棒グラフで表現した。調査区全体のどの場所に集中しているかを探ることが目的である。

緑釉陶器は、第161図で明らかなようにJ14～16グリッド×P14～P16グリッドの領域に島状に分布していた。同図では、L15グリッド（20点）とN15グリッド（24点）が、最高値であることから、二つの山をもった島状の分布といえよう。

ただしこの図では、グリッドからの出土が3点以下の場合、出土の無いグリッドと同等になるので、第158図の3D棒グラフでおこなった。このグラフは、出土累積数を表示し、島状分布以外、僅かながらではあるが、緑釉陶器の分布が、調査区の北東に広がっていたことを確認できる。

なお、遺物堆積層から出土した緑釉陶器の皿類は、皿16点、段皿1点、稜皿27点、輪花皿1点の45点（20%）、壺類は、壺77点、稜壺35点の112点（52%）、小瓶3点、そして陶片62点の222点である。この内201点が、島状分布地点から出土した。

島状分布をさらに細かく確認するため、この地点のみを小グリッド単位に拡大した等密分布図が、第

162図である。グリッド単位で取り上げた資料を小グリッドに4分の1ずつ割り振り、等密度分布を描いた。第162図によって第161図の分布が、より明らかとなった。

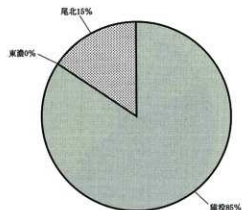
また出土地点を明確にした第163・164図も併用すると、遺物堆積層から出土した緑釉陶器の分布が、鮮明となる。つまり9世紀代の区画溝の内側にほぼ納まること、分布の中心が、第36号掘立柱建物跡の北西と南西の隅に集中したことから、この建物に直接関係した遺物と判断できよう。

9世紀後半としたこの建物は、五周四面の巨大な建物であることから、区画内の主要殿舎と考えていたが、あらためて緑釉陶器の分布が、この建物を使用した者の奢侈性を写し出すこととなった。

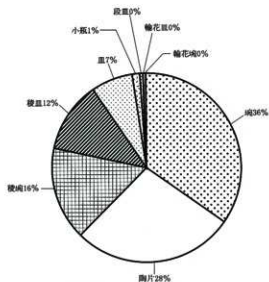
また緑釉陶器の分布は、第36号掘立柱建物跡からさらに西側に続くことから、調査区の西側に同等施設の存在を暗示していよう。区画内では、他に第62号井戸跡の周囲、区画外では、第145号住居跡等から出土した。

このように緑釉陶器の等密度分布は、緑釉陶器が、ごく限られた建物や構造物で使用され、建物の周囲に飛散し埋没したことを暗示している。

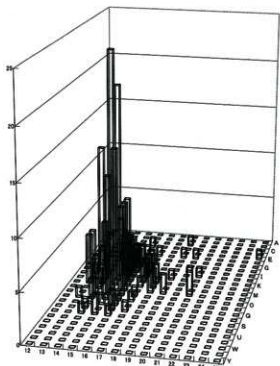
あるいは、これらの緑釉陶器は、建物の廃絶と区画内の再整地にあたって、練り込まれた可能性もあ



第156図 緑釉陶器の産地別構成



第157図 緑釉陶器の器種別構成

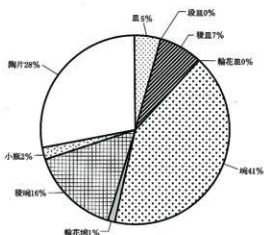


第158図 緑軸陶器の3D棒グラフ

る。ただし区画内の堆積層は、版築状の整地層として確認できなかった。

次に緑軸陶器の概略を記す。

第165図1～第168図77は、猿投窯跡群産の緑軸陶器である。第165図1～第166図10は、埴、11～50は、埴の陶片である。第165図1～6は、口縁部の復元可能な破片である。なかでも第165図1～3の内面には、小破片であるが陰刻花文が描かれ、図のように復元できる。4と6の口唇部には、輪花が残り、ともに五弁となるのであろう。



第159図 猿投産緑軸陶器の器種別構成

第165図7～第166図10は、底部から口縁部の破片である。内外面には、細かなミガキを施した後、釉が施される。第166図5・6・9には、内面に圈線がめぐる。第166図7・8・10の内面底部には、陰刻花文がみられる。小破片であるが、復元したような花弁となるであろう。

第166図11～30は口唇部から口縁部、31～41は口縁部、42～50は、高台部の破片である。

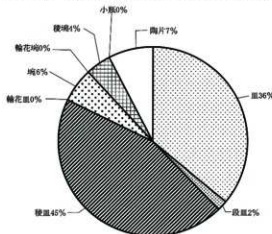
第166図51～第167図6は、埴である。第166図7～43は、埴片である。第166図51・52は、完形に復元できる個体である。トチンの跡が明瞭に残る。53は、口縁部を欠損するが、全体の分かる個体である。第167図1～4は、口縁部のみを復元できる個体である。5・6は、口縁部の一部を欠く。7～19は、口唇部から口縁部の破片である。20～43は、口縁部の破片である。

第167図44は、段皿の破片である。あるいは托かもしれない。45は埴塊か段皿、46は、段皿である。45の高台は、灰軸陶器にみられる三日月状である。第167図47～第168図8は、埴皿の破片である。

第168図9～12は、小瓶の破片である。9は肩部、10・11は胴下半部、12は、底部の破片である。

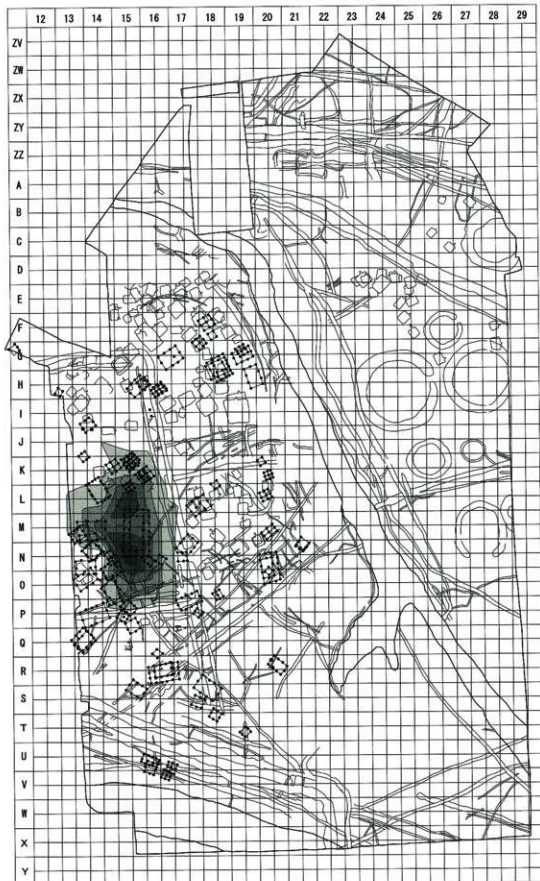
第168図13～77は、陶片である。13～23は口縁部破片、24・25は底部破片、26～75は口縁部破片、76・77は、高台の破片である。

第165図～第168図は、破片を除き全て黒笹90号窯



第160図 尾北産緑軸陶器の器種別構成





第161図 緑釉陶器の等密分布



第162図 緑釉陶器の詳細等密分布



第163図 遺物堆積層中の線軸陶器分布(1)



第164図 遺物堆積層中の緑釉陶器分布(2)

式の緑釉陶器である。

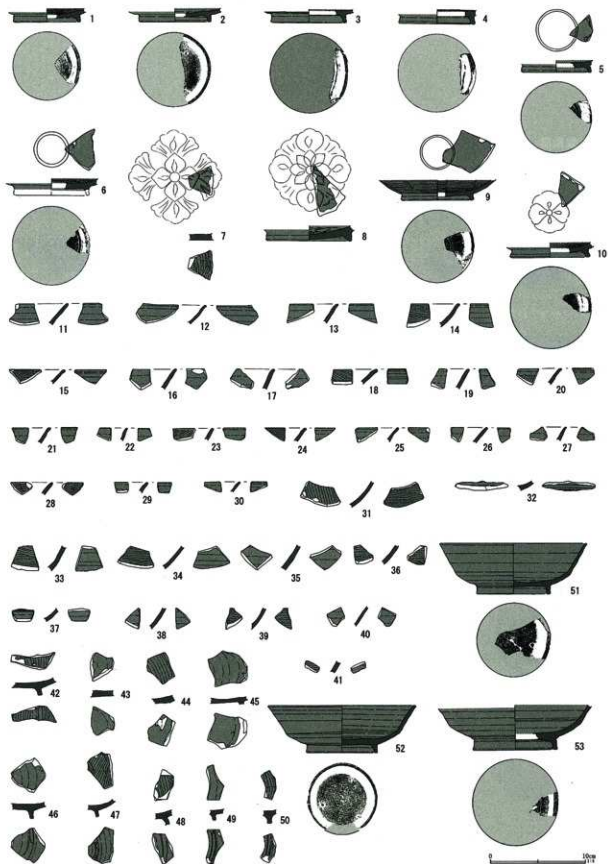
第169図1～35は、尾北窯跡群の製品である。第169図1～21は、埴の破片である。22～25は、稜埴の破片である。26～30は、皿の破片である。とくに29の内面には、陰刻花文が施されている。花文は、

鋭い篋状の工具でシャープに描かれ、八枚の花弁の中には四葉の葉を描く。31～33は、皿の破片である。34・35は、稜皿の破片である。

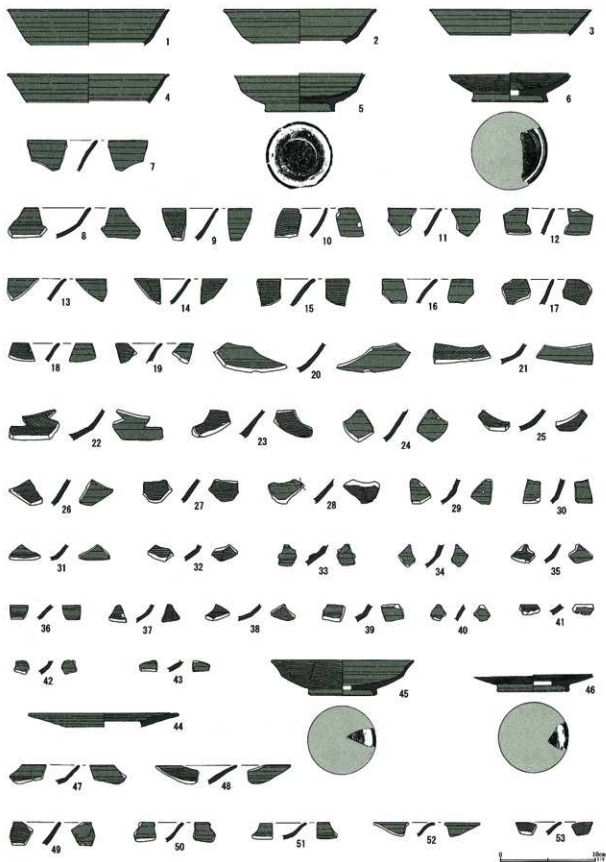
第169図は、黒笹90号窯式併行の緑釉陶器である。



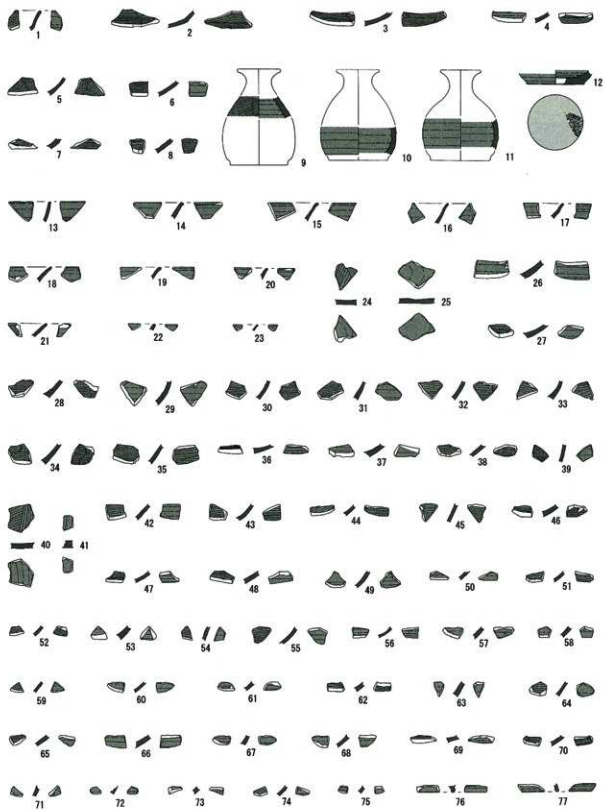
第165図 遺物堆積層の出土遺物 (20) 緑釉陶器 (1)



第166図 遺物堆積層の出土遺物 (21) 緑釉陶器 (2)

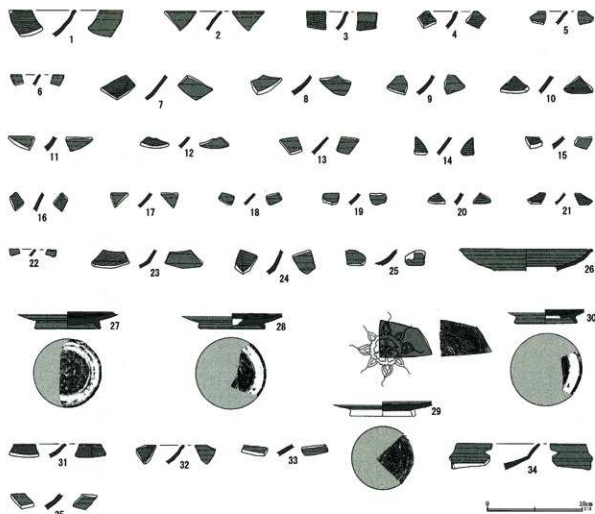


第167図 遺物堆積層の出土遺物 (22) 緑釉陶器 (3)



第168図 遺物堆積層の出土遺物 (23) 線軸陶器 (4)





第169図 遺物堆積層の出土遺物 (24) 緑釉陶器 (5)

第50表 遺物堆積層の緑釉陶器 (1)

棟号番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第165図	1	M14	埴	-	-	-	5	C30M 5 Y30BL20	K90	猿投	陰刻花文
第165図	2	表採	埴	-	-	-	5	C30M 0 Y30BL20	K90	猿投	被熱・陰刻花文
第165図	3	表採	埴	-	-	-	5	C20M10Y30BL30	K90	猿投	被熱・陰刻花文
第165図	4	SD24	輪花埴	155	81	46	30	C20M10Y30BL30	K90	猿投	V第712図3再録
第165図	5	G19pin34	埴	150	-	-	30	C20M10Y30BL30	K90	猿投	V第770図3再録
第165図	6	O16	輪花埴	130	-	-	5	C30M 0 Y30BL20	K90	猿投	
第165図	7	M16	埴	-	-	-	10	C30M10Y30BL20	K90	猿投	
第165図	8	J17	埴	-	82	-	5	C10M 0 Y30BL10	K90	猿投	
第165図	9	N21	埴	-	87	-	10	C20M 5 Y30BL30	K90	猿投	
第165図	10	M15	埴	-	80	-	5	C20M 5 Y30BL30	K90	猿投	
第165図	11	R16d	埴	-	-	-	5	BL30Y 5	K90	猿投	
第165図	12	M13	埴	-	82	-	10	C10M10Y30BL10	K90	猿投	
第165図	13	O16	埴	-	71	-	20	C 5 M 0 Y30BL20	K90	猿投	
第165図	14	F16	埴	-	72	-	20	C20M 5 Y30BL20	K90	猿投	
第165図	15	H14d	埴	-	80	-	5	C30M10Y30BL20	K90	猿投	
第165図	16	O16	埴	-	74	-	15	C30M 0 Y40	K90	猿投	
第165図	17	H17	埴	-	80	-	5	C20M10Y30BL30	K90	猿投	

第51表 遺物堆積層の緑釉陶器(2)

拝図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第165図	18	M16d	埴	—	70	—	5	C 5 M10Y30BL30	K90	猿投	
第165図	19	K15	埴	—	70	—	10	C20M 5 Y40	K90	猿投	
第165図	20	N15	埴	—	71	—	10	C40M20Y50BL30	K90	猿投	
第165図	21	N18	埴	—	75	—	5	C10M 0 Y30BL30	K90	猿投	
第165図	22	P15b	埴	—	76	—	5	C20M10Y50BL30	K90	猿投	
第165図	23	SE44	埴	—	73	—	5	C20M 5 Y30BL20	K90	猿投	
第165図	24	P17	埴	—	70	—	20	C20M10Y30BL10	K90	猿投	
第165図	25	L13	埴	—	82	—	10	C50M 0 Y30BL30	K90	猿投	
第166図	1	H15	埴	—	71	—	10	C20M10Y50BL30	K90	猿投	
第166図	2	M14	埴	—	80	—	5	C20M10Y50BL30	K90	猿投	
第166図	3	O17	埴	—	80	—	5	C10M10Y50BL30	K90	猿投	
第166図	4	J15	埴	—	73	—	5	C 5 M30Y70BL30	K90	猿投	
第166図	5	M18	埴	—	—	—	5	C 5 M 0 Y50BL30	K90	猿投	圏線
第166図	6	表探	埴	—	—	—	5	C30M10Y50BL10	K90	猿投	圏線
第166図	7	I17	埴片	—	90	—	5	C20M 5 Y30BL10	K90	猿投	除刻花文
第166図	8	N18	埴片	—	76	—	5	C30M20Y50BL30	K90	猿投	除刻花文
第166図	9	M15b	埴片	—	84	—	5	C40M10Y40	K90	猿投	除刻花文・圏線
第166図	10	J21	埴片	—	—	—	5	C20M30Y50	—	猿投	除刻花文
第166図	11	N15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL20	—	猿投	
第166図	12	N21	埴片	—	—	—	5	C40M20Y50BL30	—	猿投	
第166図	13	J16	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第166図	14	N15	埴片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	猿投	
第166図	15	L16	埴片	—	—	—	5	C40M20Y50BL30	—	猿投	
第166図	16	L15	埴片	—	—	—	5	C30M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	17	Q15b	埴片	—	—	—	5	C 5 M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	18	L15	埴片	—	—	—	5	C30M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	19	C19a	埴片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL20	—	猿投	
第166図	20	F15a	埴片	—	—	—	5	BL50Y20	—	猿投	
第166図	21	N16	埴片	—	—	—	5	C 5 M 5 Y10BL10	—	猿投	
第166図	22	K17	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50BL30	—	猿投	
第166図	23	P15	埴片	—	—	—	5	C30M20Y50BL30	—	猿投	
第166図	24	L14	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50BL30	—	猿投	
第166図	25	M15	埴片	—	—	—	5	C20M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	26	L14a	埴片	—	—	—	5	C30M20Y50BL30	—	猿投	
第166図	27	L15	埴片	—	—	—	5	C40M40Y70BL30	—	猿投	
第166図	28	L15d	埴片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL20	—	猿投	
第166図	29	表探	埴片	—	—	—	5	C10M30Y50BL30	—	猿投	
第166図	30	J16	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL10	—	猿投	
第166図	31	O16	埴片	—	—	—	5	C30M20Y20BL30	—	猿投	
第166図	32	P13	埴片	—	—	—	5	C40M20Y50BL30	—	猿投	
第166図	33	L16	埴片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL30	—	尾北	
第166図	34	L15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第166図	35	D14	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	猿投	
第166図	36	K17	埴片	—	—	—	5	C 5 M 0 Y10BL10	—	猿投	
第166図	37	N14	埴片	—	—	—	5	C10M 5 Y30BL10	—	猿投	
第166図	38	M15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第166図	39	S14	埴片	—	—	—	5	C10M 5 Y30BL20	—	猿投	
第166図	40	SE21	埴片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL10	—	猿投	

第52表 遺物堆積層の緑釉陶器(3)

押図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第166図	41	O16	埴片	—	—	—	5	C40M50Y70BL20	—	猿投	
第166図	42	L14c	埴片	—	—	—	5	C10M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	43	L13c	埴片	—	—	—	5	C5 M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	44	O16	埴片	—	—	—	5	C10M30Y70BL20	—	猿投	
第166図	45	K13b	埴片	—	—	—	5	C5 M10Y50BL30	—	猿投	
第166図	46	O15	埴片	—	—	—	5	C5 M 5 Y30BL30	—	猿投	
第166図	47	N16	埴片	—	—	—	5	C20M10Y30BL30	—	猿投	
第166図	48	M16a	埴片	—	—	—	5	C30M 5 Y50BL30	—	猿投	
第166図	49	J14c	埴片	—	—	—	5	C0 M 0 Y10BL30	—	猿投	
第166図	50	M15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y50BL30	—	猿投	
第166図	51	N15	椀埴	154	78	53	50	C10M 5 Y50BL30	K90	猿投	被熱
第166図	52	P22	椀埴	—	—	—	90	C10M 5 Y30BL30	K90	猿投	
第166図	53	M13	椀埴	—	88	—	10	C5 M10Y70BL30	K90	猿投	M-15
第167図	1	M14	椀埴	170	—	—	5	C20M10Y30BL30	K90	猿投	
第167図	2	P15	椀埴	160	—	—	5	C30M10Y30BL30	K90	猿投	
第167図	3	J14c	椀埴	171	—	—	5	C20M20Y30BL10	K90	猿投	
第167図	4	L17d	椀埴	169	—	—	5	C0 M10Y30BL20	K90	猿投	
第167図	5	M14	椀埴	—	74	—	50	C20M10Y30BL20	K90	猿投	
第167図	6	C27pit 1	椀埴	—	—	—	15	C20M 5 Y30BL20	K90	猿投	
第167図	7	M14	椀埴片	—	—	—	5	C20M10Y30BL20	—	猿投	
第167図	8	N15	椀埴片	—	—	—	5	C30M30Y50BL30	—	猿投	
第167図	9	E25b	椀埴片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL20	—	猿投	
第167図	10	S16c	椀埴片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL30	—	猿投	
第167図	11	K15c	椀埴片	—	—	—	5	C10M10Y30BL30	—	猿投	
第167図	12	N21	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL20	—	猿投	
第167図	13	L15c	埴片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL20	—	猿投	
第167図	14	N16	埴片	—	—	—	5	C50M20Y50BL30	—	猿投	
第167図	15	L13	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	猿投	
第167図	16	O16	埴片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	猿投	
第167図	17	J16	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	猿投	
第167図	18	I17d	埴片	—	—	—	5	BL50Y10	—	猿投	
第167図	19	K15	埴片	—	—	—	5	C10M 0 Y30BL10	—	猿投	
第167図	20	M16	埴片	—	—	—	10	C10M 5 Y50BL30	—	猿投	
第167図	21	R17	埴片	—	—	—	10	C40M 0 Y50BL10	—	猿投	
第167図	22	L14	埴片	—	—	—	10	C20M 5 Y30BL10	—	猿投	
第167図	23	SJ 8	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL10	—	猿投	
第167図	24	M15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL20	—	猿投	
第167図	25	L13	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50BL30	—	猿投	
第167図	26	L15	埴片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL30	—	猿投	
第167図	27	M15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第167図	28	O15	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	K90	猿投	
第167図	29	M14a	埴片	—	—	—	5	C20M10Y30BL30	—	猿投	
第167図	30	N15d	埴片	—	—	—	5	C20M20Y30BL30	—	猿投	
第167図	31	N16a	埴片	—	—	—	5	C10M10Y30BL30	—	猿投	
第167図	32	D16	埴片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL20	—	猿投	
第167図	33	R14b	埴片	—	—	—	5	C0 M 5 Y30BL20	—	猿投	
第167図	34	N16	埴片	—	—	—	5	C30M20Y50BL30	—	猿投	
第167図	35	N15a	埴片	—	—	—	5	C5 M 0 Y10BL10	—	猿投	

第53表 遺物堆積層の緑釉陶器(4)

挿図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第167図	36	O14a	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	—	猿投
第167図	37	L14a	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	—	猿投
第167図	38	M13b	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30BL10	—	—	猿投
第167図	39	M13	埴片	—	—	—	5	C20M20Y30BL30	—	—	猿投
第167図	40	M15	埴片	—	—	—	5	C5M10Y50BL30	—	—	猿投
第167図	41	M16	埴片	—	—	—	5	C20M5Y30BL10	—	—	猿投
第167図	42	L13	埴片	—	—	—	5	C5M10Y50BL30	—	—	猿投
第167図	43	M17	埴片	—	—	—	5	C20M20Y50BL30	—	—	猿投
第167図	44	M15	段皿	153	—	—	5	C10M10Y50BL30	K90	—	猿投
第167図	45	N15	椀塊小段皿	147	72	37	15	C30M30Y50BL30	K90	—	猿投 被熱
第167図	46	I13d	段皿	—	76	—	5	C5M0Y10BL30	K90	—	猿投
第167図	47	鉢掘	椀皿片	—	—	—	5	C20M0Y30BL20	—	—	猿投
第167図	48	P14a	椀皿片	—	—	—	5	BL30Y5	—	—	猿投
第167図	49	L18	椀皿片	—	—	—	5	C40M10Y50BL30	—	—	猿投
第167図	50	N15a	椀皿片	—	—	—	5	C10M5Y10BL10	—	—	猿投
第167図	51	P16	椀皿片	—	—	—	5	C30M5Y50BL30	—	—	猿投
第167図	52	K14c	椀皿片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	—	猿投
第167図	53	M16	椀皿片	—	—	—	5	C5M20Y50BL30	—	—	猿投
第168図	1	N15	椀皿片	—	—	—	5	C20M20Y50BL30	—	—	猿投
第168図	2	N16	椀皿片	—	—	—	10	C30M10Y30BL30	—	—	猿投
第168図	3	N15	椀皿片	—	—	—	10	C20M10Y30BL30	—	—	猿投
第168図	4	M15	椀皿片	—	—	—	5	C50M30Y30BL20	—	—	猿投
第168図	5	N16	椀皿片	—	—	—	5	C40M20Y30BL30	—	—	猿投
第168図	6	M16c	椀皿片	—	—	—	5	C5M10Y30BL30	—	—	猿投
第168図	7	表採	椀皿片	—	—	—	5	C10M0Y30BL30	—	—	猿投
第168図	8	K15	椀皿片	—	—	—	5	C30M10Y30BL10	—	—	猿投
第168図	9	M14	小瓶	—	—	—	5	C5M0Y30BL20	K90	—	猿投 被熱
第168図	10	表採	小瓶	—	—	—	5	C20M0Y30BL10	K90	—	猿投
第168図	11	M14	小瓶	—	—	—	5	C0M10Y50BL30	K90	—	猿投 被熱
第168図	12	M14a	小瓶	—	—	—	5	BL30Y5	K90	—	猿投
第168図	13	K19c	陶片	—	—	—	5	BL30M0	—	—	猿投
第168図	14	N15	陶片	—	—	—	5	C20M0Y30BL10	—	—	猿投
第168図	15	N15g	陶片	—	—	—	5	C30M5Y50BL30	—	—	猿投
第168図	16	H16d	陶片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	—	猿投
第168図	17	L18	陶片	—	—	—	5	BL40Y5	—	—	猿投
第168図	18	L15	陶片	—	—	—	5	BL40Y0	—	—	猿投
第168図	19	15b	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	—	猿投
第168図	20	N15d	陶片	—	—	—	5	C5M0Y30BL30	—	—	猿投
第168図	21	K14	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	—	猿投
第168図	22	M14	陶片	—	—	—	5	C30M5Y30BL30	—	—	猿投
第168図	23	O15	陶片	—	—	—	5	C0M0Y30BL30	—	—	猿投
第168図	24	N16c	陶片	—	—	—	5	C0M5Y30BL30	—	—	猿投
第168図	25	N15a	陶片	—	—	—	5	C30M30Y30BL30	—	—	猿投
第168図	26	L17d	陶片	—	—	—	5	C0M5Y30BL10	—	—	猿投
第168図	27	O14b	陶片	—	—	—	5	C20M10Y50BL10	—	—	猿投
第168図	28	M14	陶片	—	—	—	5	C50M30Y30BL20	—	—	猿投
第168図	29	SD71	陶片	—	—	—	5	BL50Y20	—	—	猿投
第168図	30	第2号墳	陶片	—	—	—	5	BL50Y30	—	—	猿投

第54表 遺物堆積層の緑釉陶器(5)

挿図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第168図	31	J17c	陶片	—	—	—	5	BL40Y20	—	猿投	
第168図	32	M13b	陶片	—	—	—	5	BL50Y20	—	猿投	
第168図	33	F19a	陶片	—	—	—	5	BL20Y 5	—	猿投	
第168図	34	N16	陶片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL20	—	猿投	
第168図	35	O15	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	36	J14	陶片	—	—	—	5	C30M20Y30BL10	—	猿投	
第168図	37	L16	陶片	—	—	—	5	C 5 M10Y30BL20	—	猿投	
第168図	38	表採	陶片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	39	F20	陶片	—	—	—	5	C10M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	40	L15c	陶片	—	—	—	5	C20M20Y30BL20	—	猿投	
第168図	41	Q16	陶片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL10	—	猿投	
第168図	42	I14	陶片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	猿投	
第168図	43	F17d	陶片	—	—	—	5	C 0 M 0 Y10BL30	—	猿投	
第168図	44	表採	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	45	M14c	陶片	—	—	—	5	BL30Y10	—	猿投	
第168図	46	L15	陶片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	47	L15	陶片	—	—	—	5	C 0 M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	48	L15	陶片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL10	—	猿投	
第168図	49	L15d	陶片	—	—	—	5	C20M30Y50	—	猿投	
第168図	50	L15	陶片	—	—	—	5	BL50Y20	—	猿投	
第168図	51	L15c	陶片	—	—	—	5	C20M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	52	L14a	陶片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	53	L15a	陶片	—	—	—	5	C 0 M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	54	L15	陶片	—	—	—	5	C40M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	55	M15	陶片	—	—	—	5	C30M20Y30BL30	—	猿投	
第168図	56	K13b	陶片	—	—	—	5	C10M 5 Y30BL30	—	猿投	
第168図	57	M18c	陶片	—	—	—	5	C 0 M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	58	SE21	陶片	—	—	—	5	C 5 M 0 Y30BL30	—	猿投	
第168図	59	J14d	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	60	N15	陶片	—	—	—	5	C30M 5 Y50BL30	—	猿投	
第168図	61	M14	陶片	—	—	—	5	C30M 5 Y30BL20	—	猿投	
第168図	62	N19	陶片	—	—	—	5	C40M30Y30BL20	—	猿投	
第168図	63	SE21	陶片	—	—	—	5	C50M30Y50BL30	—	猿投	
第168図	64	S15b	陶片	—	—	—	5	C 5 M10Y30BL30	—	猿投	
第168図	65	N15d	陶片	—	—	—	5	C30M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	66	O15	陶片	—	—	—	5	C10M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	67	O15	陶片	—	—	—	5	C20M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	68	O16	陶片	—	—	—	5	C 5 M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	69	O15	陶片	—	—	—	5	C40M20Y30BL20	—	猿投	
第168図	70	K16	陶片	—	—	—	5	C30M20Y30BL10	—	猿投	
第168図	71	M16	陶片	—	—	—	5	C10M 0 Y30BL10	—	猿投	
第168図	72	H16	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL10	—	猿投	
第168図	73	N15	陶片	—	—	—	5	C30M10Y30BL10	—	猿投	
第168図	74	N15	陶片	—	—	—	5	C40M30Y50BL30	—	猿投	
第168図	75	M14	陶片	—	—	—	5	C 0 M 0 Y30BL20	—	猿投	
第168図	76	L15d	陶片	—	—	—	5	C50M50Y50BL30	—	猿投	
第168図	77	遺物堆積層	陶片	—	—	—	5	C 5 M 5 Y50BL30	—	猿投	
第169図	1	M18	塊片	—	—	—	5	C30M 5 Y50BL30	—	尾北	

第55表 遺物堆積層の緑釉陶器(6)

押図番号	図の番号	グリッド	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	型式	産地	備考
第169図	2	K15c	埴片	—	—	—	5	C40M10Y50B1.30	—	尾北	
第169図	3	N15	埴片	—	—	—	5	C50M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	4	表採	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30B1.10	—	尾北	
第169図	5	L15	埴片	—	—	—	5	C40M40Y50B1.30	—	尾北	
第169図	6	K16	埴片	—	—	—	5	C40M30M50B1.30	—	尾北	
第169図	7	SE21	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	8	L15	埴片	—	—	—	5	C40M40Y50B1.30	—	尾北	
第169図	9	R16	埴片	—	—	—	5	C30M10Y30B1.30	—	尾北	
第169図	10	L16	埴片	—	—	—	5	C50M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	11	遺物堆積層	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	12	K16c	埴片	—	—	—	5	C40M30Y30B1.30	—	尾北	
第169図	13	K15	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	14	N15	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	15	O16	埴片	—	—	—	5	C50M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	16	O15a	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	17	M15b	埴片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	18	L16	埴片	—	—	—	5	C40M20Y30B1.30	—	尾北	
第169図	19	P14	埴片	—	—	—	5	C50M40Y50B1.30	—	尾北	
第169図	20	N19d	埴片	—	—	—	5	C30M20Y30B1.30	—	尾北	
第169図	21	I13	埴片	—	—	—	5	C30M10Y30B1.30	—	尾北	
第169図	22	O15	稜埴片	—	—	—	5	C70M60Y70B1.30	—	尾北	
第169図	23	L16	稜埴片	—	—	—	5	C30M O Y40	—	尾北	
第169図	24	I16	稜埴片	—	—	—	5	BL30Y10	—	尾北	
第169図	25	M15	稜埴片	—	—	—	5	C50M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	26	O15	皿片	137	—	—	10	C40M30Y30B1.20	K90	尾北	
第169図	27	O14	皿片	—	70	—	25	C40M30Y50B1.30	K90	尾北	
第169図	28	M16	皿片	—	70	—	5	C50M20Y50B1.30	K90	尾北	
第169図	29	I16	皿片	—	—	—	5	C 5 M 5 Y30B1.30	K90	尾北	除削花文
第169図	30	J15	皿片	—	66	—	5	C30M10Y50B1.30	K90	尾北	
第169図	31	O15	皿片	—	—	—	5	C40M10Y50B1.30	—	尾北	
第169図	32	N15c	皿片	—	—	—	5	C30M10Y30B1.30	—	尾北	
第169図	33	O15b	皿片	—	—	—	5	C40M30Y50B1.30	—	尾北	
第169図	34	N15	稜皿片	—	—	—	10	C30M20Y30B1.10	—	尾北	
第169図	35	M15	稜皿片	—	—	—	5	C50M30Y50B1.30	—	尾北	

#### iv 土製品

##### (1) 土錘

北高遺跡第19地点では、古墳時代後期から平安時代の堅穴住居跡・掘立柱建物跡・土壇・溝等から大量の土錘が出土した。

土錘は、漁労用の網に付けられた錘である。細長い管状の形態から管状土錘とも呼ばれる。北高遺跡第19地点では、土錘が545点出土した。

土錘については、まず形態、面取りの手法、欠損部位で分類した。その後、胎土、色調、重量計測を行った。

形態の分類は、『如意遺跡』の栗岡分類(栗岡2001)に準拠した。

**A類** 上端から下端までの径は一定だが、端部でやや細くなり、長さに対する径の割合が小さく、細長い土錘。

**B類** A類と比べ、側面中央がやや膨らむ土錘。

**B'類** 片面が直線的で他面が膨らむ半月状の土錘。A類とB類の両者の特徴を併せ持つ。

**C類** 中央部が大きく膨らみ、上端と下端を絞ったように細くなる土錘。

**D類** 上端と下端の径が、一定で管玉状の土錘。

**E類** 上端と下端の径は一定だが、長さに対する径の割合が大きく、太く短い土錘。

土錘端部の面取り手法は、まず刀子や篋杖工具等

で平らな面を作り出した(a類)、面取りを行わない(b類)に分類した。但し面取りが、片方だけの場合は、「片」と表示した。

網に取り付けられた土錘は、無理な負荷によって大きく欠損するが、欠損の部位で四類、割れ方で二類に分類した。

欠損部位の分類は、以下の通りである。

**I類** 土錘の一端が破損。

**II類** 土錘の両端が破損。

**III類** 縦に半載された土錘。

**IV類** 欠損部位が少ないか、みられない土錘。

割れ方は、剪断によって水平に欠損するa類と、斜めに欠損する(b類)の二者がある。欠損部位が、両端で異なる場合は、II a・II bと表現した。

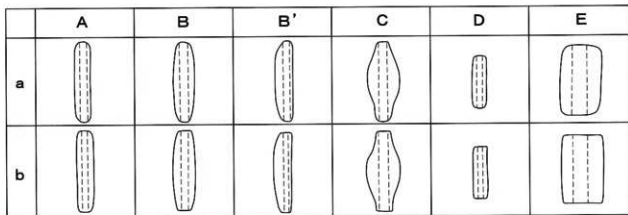
胎土は、全て利根川水系の原土を用いたが、表面が砂質でざらついた土錘については「砂」、滑らかで粘性のある土錘は「粘土」と表現した。

なお、大きさには、とくに分類しなかった。

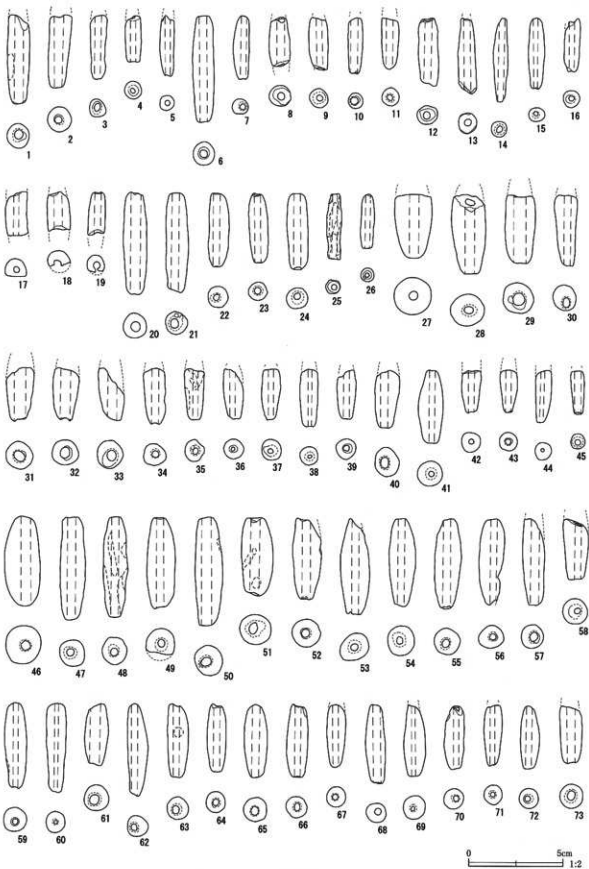
個別の土錘について以下に記す。

第171図1～26は、A類である。25・26のみ面取りが無く、26は、片面のみ面取りがある。A類は26点である。

第171図27～第176図427は、B類である。27～404は、面取りされるが、405～427は、面取りされない。

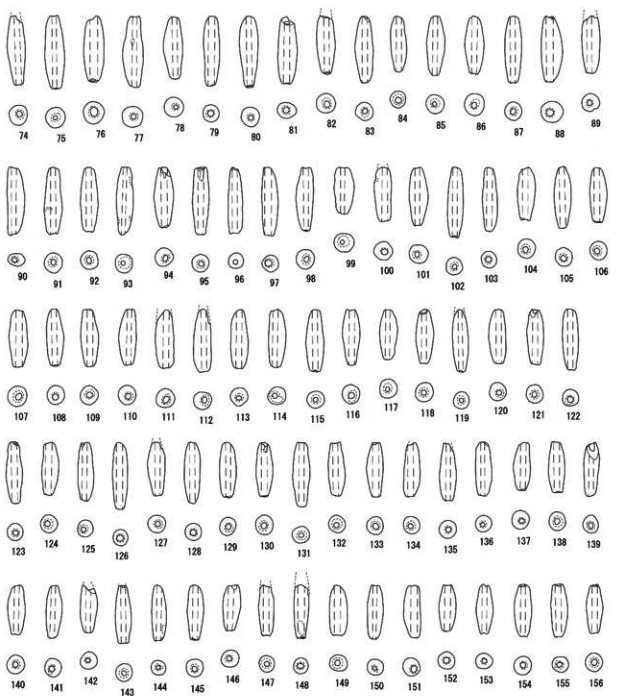


第170図 土錘模式図



第171図 遺物堆積層の出土遺物 (25) 土錘 (1)





第172図 遺物堆積層の出土遺物 (26) 土鏝 (2)

0 5cm  
1 1.2

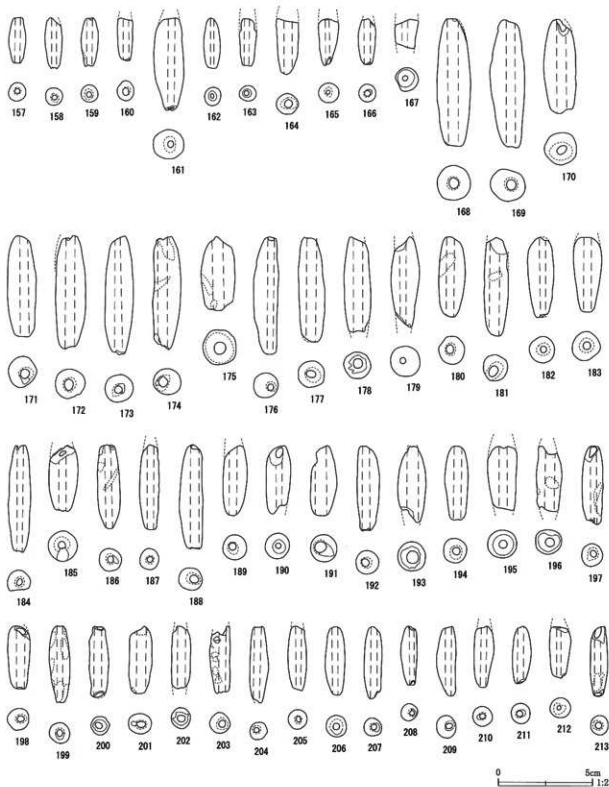
なかでも423~427は、片面のみ面取りされている。  
B類は、401点と最も多い。

第176図428~第178図511は、C類である。428~504は、面取りされるが、505~511は、面取りされない。なかでも509~511は、片面のみ面取りされて

いる。C類は、84点である。

第178図512~同図544は、D類である。512~542は、面取りされるが、543・544は、面取りがみられない。D類は、33点である。

第178図545のみが、E類である。面取りされてい



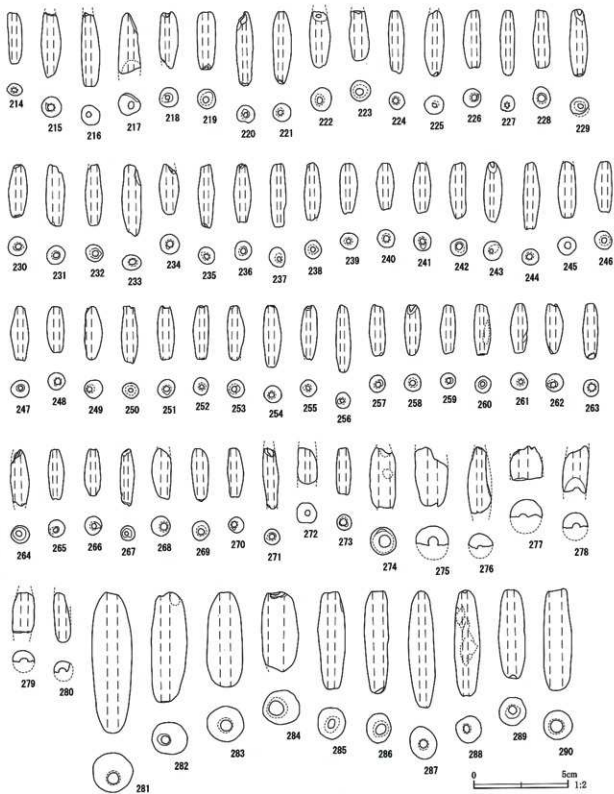
第173図 遺物堆積層の出土遺物 (27) 土鏃 (3)

ない。

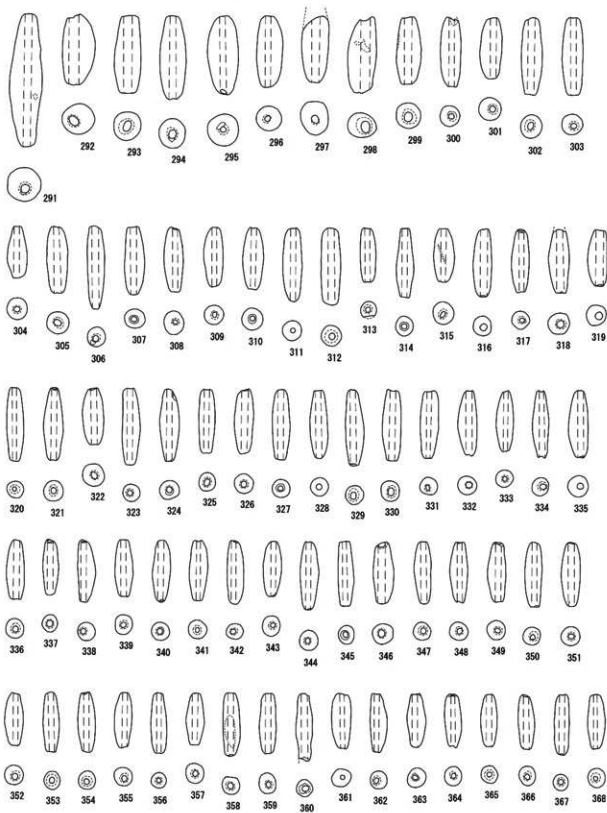
全体の割合をみると、B類が74%と最も多く、次いでC類 (15%)、D類 (6%)、A類 (5%)、E

類の順となる。また面取りのされない土鏃は、35点と僅か6%に過ぎない。

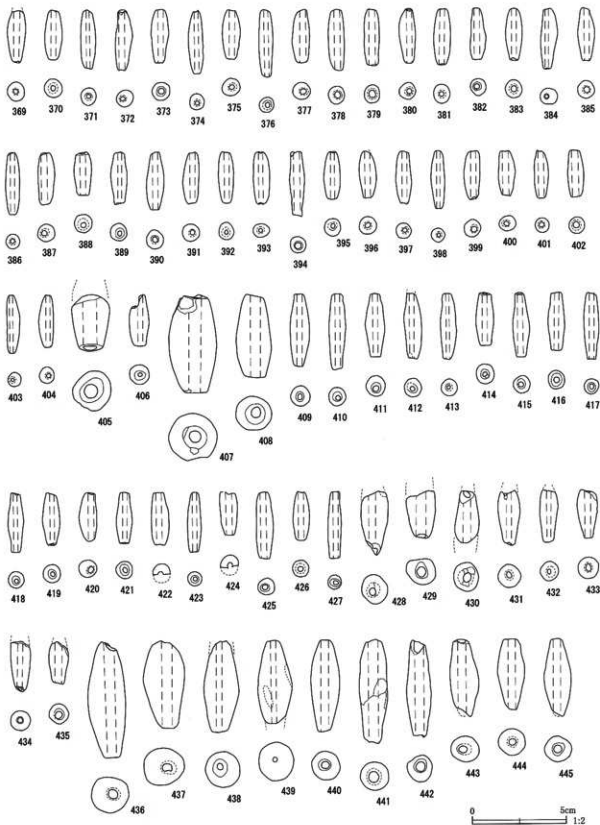
欠損部位は、I a類35点(6%)、I b類155点(2



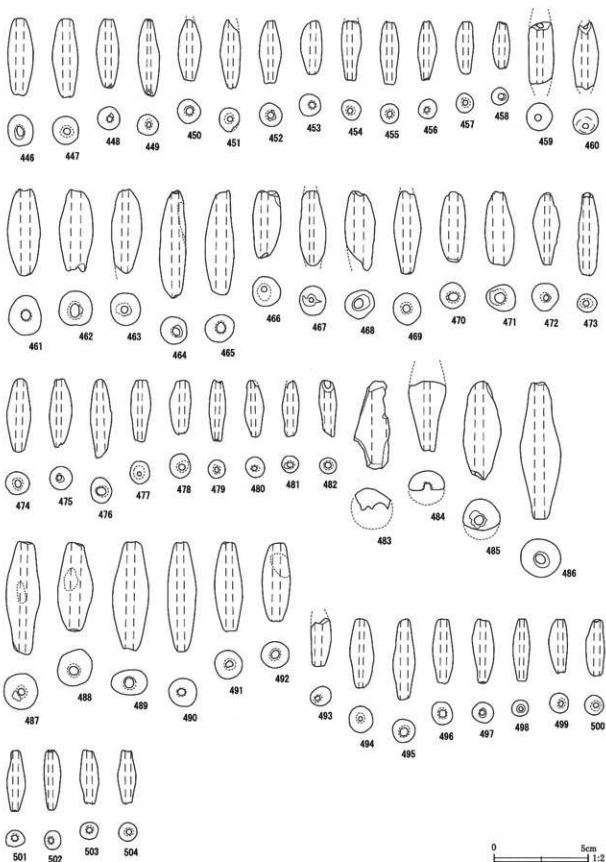
第174図 遺物堆積層の出土遺物(28)土錘(4)



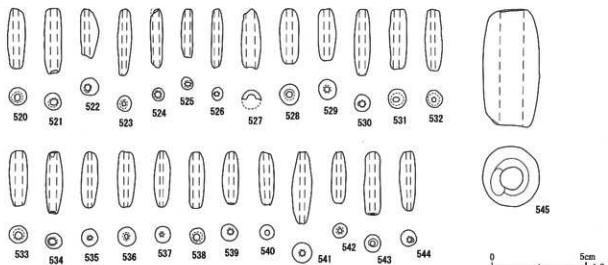
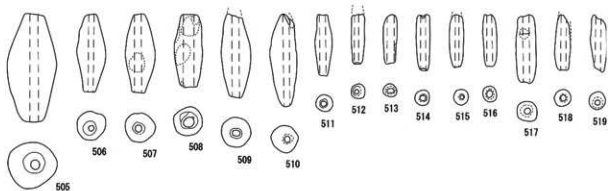
第175図 遺物堆積層の出土遺物 (29) 土鏝 (5)



第176図 遺物堆積層の出土遺物 (30) 土錐 (6)



第177図 遺物堆積層の出土遺物 (31) 土鏝 (7)



第178図 遺物堆積層の出土遺物 (31) 土鏝 (8)

9%)、Ⅱa類6点(1%)、Ⅱb類143点(26%)、Ⅱa・Ⅱb類3点(1%)、Ⅲa類13点(2%)、Ⅲa・Ⅲb類1点(0%)、Ⅲb類1点(0%)、Ⅳ類187点(35%)、Ⅲb・Ⅳ類1点(0%)である。

水平に割れた土鏝a類は、54点(10%)と少なく、全体の9割が、斜めに破損したこととなる。

さらに一端(Ⅰ類)、または両端(Ⅱ類)が破損した土鏝が、全体の55%を占め、非破損品のⅣ類も35%と多い。これは、破損した土鏝がある一方、無傷のまま廃棄された場合のあったことを示す。

遺構の種類別に出土傾向を見ると、掘立柱建物跡3点(1%)・溝跡55点(10%)・井戸跡137点(25%)・堅穴住居跡35点(6%)・土壘30点(6%)・古墳1点(0%)・SX4点(1%)・ビット8点(1%)・遺物堆積層264点(49%)・表探8点(1%)である。

なお、溝跡では、第125・151号溝など区画溝が圧倒的に多い。さらに井戸跡では、第85号井戸の124点が最も多い。土鏝の孔内には、燃った繊維が残存する個体のみらた。第85号井戸から出土した土鏝は、網に装着したまま廃棄したのであろう。

第56表 遺物地積層の土鍾(1)

神田番号	図の番号	遺構種類	遺構番号	グリッド・位置	長さ	最大幅	形状	面取り	欠損部位	重量	胎土	色調	
第171図	1	SJ	97		(36)	8	A	a	I a	8.19	砂	黒	
第171図	2	SJ	113		(38)	13	A	a	I a	7.11	砂	黒	
第171図	3	グリッド		G-16-a	(33)	8	A	a	I a	3.15	砂	茶	
第171図	4	グリッド		P-17-b	(25)	9	A	a	I a	2.15	砂	黒	
第171図	5	グリッド		T-16	(32)	7	A	a	I a	1.68	砂	茶	
第171図	6	グリッド		P-23	55	12	A	a	I b	9	砂	白	
第171図	7	SE	85		33	9	A	a	I b	2.77	粘土	黒	
第171図	8	グリッド		J-17-d	(21)	12	A	a	II a	3.28	砂	白	
第171図	9	SK	160		(23)	10	A	a	II a	2.7	砂	白	
第171図	10	グリッド		M-16-d	(30)	9	A	a	II a・II b	2.1	砂	黒	
第171図	11	グリッド		L-16-a	(22)	9	A	a	II a・II b	2.05	砂	黒	
第171図	12	SK	160		33	11	A	a	II b	4.13	砂	茶	
第171図	13	グリッド		N-17-c	(40)	11	A	a	II b	3.15	砂	茶	
第171図	14	SJ	61		44	8	A	a	II b	2.85	砂	黒	
第171図	15	SE	24		32	9	A	a	II b	2.57	砂	白	
第171図	16	グリッド		M-15-a	23	9	A	a	II b	1.88	砂	白	
第171図	17	SD	325		V-20	(24)	12	A	a	III a	2.17	砂	茶
第171図	18	グリッド		H-16-d	(21)	12	A	a	III a	1.98	砂	茶	
第171図	19	グリッド		P-16-d	(23)	9	A	a	III a	1.66	砂	白	
第171図	20	SB	35		ビット4	54	13	A	a	IV	9.16	砂	茶
第171図	21	グリッド		H-13-a	52	12	A	a	IV	7.05	砂	白	
第171図	22	グリッド		L-15-d	38	11	A	a	IV	4.78	砂	白	
第171図	23	SJ	34		37	10	A	a	IV	4.54	砂	茶	
第171図	24	グリッド		P-15-a	40	11	A	a	IV	4.44	砂	白	
第171図	25	ビット	P12		E-15	34	8	A	b	I b	2.26	粘土	黒
第171図	26	SK	166		28	7	A	片b	I b	2.07	砂	黒	
第171図	27	SD	87		L-17	(33)	20	B	a	I a	12.94	粘土	白
第171図	28	グリッド		M-13-b	(41)	18	B	a	I a	12.43	砂	茶	
第171図	29	グリッド		J-21	(36)	16	B	a	I a	8.94	砂	茶	
第171図	30	グリッド		E-14-b	(37)	13	B	a	I a	5.23	砂	茶	
第171図	31	グリッド		J-22	(29)	15	B	a	I a	4.51	砂	茶	
第171図	32	グリッド		H-19	(29)	14	B	a	I a	4.98	砂	白	
第171図	33	グリッド		I-21	(28)	15	B	a	I a	3.45	砂	茶	
第171図	34	SD	200		(29)	12	B	a	I a	4.54	砂	茶	
第171図	35	グリッド		N-16-c	(27)	12	B	a	I a	3.59	砂	茶	
第171図	36	グリッド		J-15-d	(26)	11	B	a	I a	3.34	砂	茶	
第171図	37	グリッド		L-17-b	(27)	10	B	a	I a	3.26	砂	白	
第171図	38	グリッド		K-14-d	(30)	10	B	a	I a	3.08	砂	黒	
第171図	39	表探			(26)	11	B	a	I a	2.79	砂	茶	
第171図	40	グリッド		J-21	(30)	15	B	a	I a	4.61	砂	茶	
第171図	41	グリッド		P-14-d	38	14	B	a	I a	2.57	粘土	茶	
第171図	42	グリッド		J-16-c	(22)	10	B	a	I a	2.55	砂	白	
第171図	43	SJ	144		(22)	10	B	a	I a	2.1	砂	白	
第171図	44	SJ	158		(23)	9	B	a	I a	2.08	粘土	白	
第171図	45	グリッド		E-14-b	(23)	8	B	a	I a	1.32	砂	白	
第171図	46	SK	269		47	20	B	a	I b	17.48	砂	茶	
第171図	47	SB	50		ビット3	54	14	B	a	I b	11.55	砂	茶
第171図	48	グリッド		N-14-a	53	14	B	a	I b	11.55	砂	黒	



第57表 遺物堆積層の土壌(2)

採図番号	図の番号	遺構種類	遺構番号	グリッド・位置	長さ	最大幅	形状	面取り	欠損部位	重量	胎土	色調
第171図	49	グリッド		I-16-d	48	15	B	a	I b	11.49	砂	白
第171図	50	グリッド		H-19-b	57	16	B	a	I b	11.45	砂	白
第171図	51	SD	233		41	17	B	a	I b	10.75	砂	茶
第171図	52	グリッド		K-13-b	43	15	B	a	I b	10.63	砂	黒
第171図	53	グリッド		F-18-a	50	15	B	a	I b	10.46	砂	茶
第171図	54	SD	125	J-15	46	15	B	a	I b	9.81	砂	茶
第171図	55	グリッド		N-15	47	14	B	a	I b	9.08	砂	白
第171図	56	グリッド		L-20-d	45	14	B	a	I b	7.28	砂	茶
第171図	57	SK	160	J-15	(45)	12	B	a	I b	6.65	砂	白
第171図	58	SD	125・91	L-16	(31)	13	B	a	I b	6.31	粘土	白
第171図	59	SK	155		45	13	B	a	I b	6.31	砂	黒
第171図	60	SD	199・266	Q-18	47	11	B	a	I b	6.17	粘土	白
第171図	61	グリッド		K-16-a	33	14	B	a	I b	5.6	砂	白
第171図	62	グリッド		K-13-c	49	11	B	a	I b	5.59	砂	白
第171図	63	グリッド		K-16-d	39	12	B	a	I b	5.09	砂	白
第171図	64	グリッド		K-15-a	36	11	B	a	I b	5.07	砂	黒
第171図	65	SD	233	O-16G	38	12	B	a	I b	4.83	砂	白
第171図	66	グリッド		L-19-b	38	11	B	a	I b	4.52	砂	白
第171図	67	SJ	90		(33)	11	B	a	I b	4.35	砂	黒
第171図	68	グリッド		E-15-c	41	11	B	a	I b	4.32	砂	茶
第171図	69	グリッド		M-17	(38)	12	B	a	I b	4.27	砂	白
第171図	70	グリッド		L-15-d	33	11	B	a	I b	4.16	砂	黒
第171図	71	グリッド		M-17-d	(33)	10	B	a	I b	3.95	砂	白
第171図	72	グリッド		H-17-c	33	11	B	a	I b	3.92	砂	白
第171図	73	SD	236	P-16	(31)	13	B	a	I b	3.91	砂	黒
第172図	74	SE	55		(37)	10	B	a	I b	3.76	砂	黒
第172図	75	SE	85		39	11	B	a	I b	3.73	粘土	白
第172図	76	SD	125・91	M-16	35	12	B'	a	I b	3.6	砂	白
第172図	77	グリッド		J-16-c	38	11	B	a	I b	3.59	砂	白
第172図	78	SE	58		33	11	B	a	I b	3.58	砂	白
第172図	79	SK	160		37	9	B	a	I b	3.55	砂	黒
第172図	80	グリッド		K-15-c	38	10	B	a	I b	3.49	砂	白
第172図	81	グリッド		N-16-c	35	10	B	a	I b	3.42	砂	白
第172図	82	グリッド		N-17-b	(31)	10	B	a	I b	3.41	砂	茶
第172図	83	グリッド		K-15-a	35	10	B	a	I b	3.4	砂	白
第172図	84	SD	206	P-15	29	8	B	a	I b	1.97	砂	白
第172図	85	SE	85		31	10	B	a	I b	3.32	粘土	黒
第172図	86	SD	152		31	11	B	a	I b	3.31	砂	茶
第172図	87	グリッド		J-15	35	10	B	a	I b	3.26	砂	黒
第172図	88	グリッド		O-16	35	12	B	a	I b	3.24	砂	白
第172図	89	グリッド		J-16-b	(31)	9	B	a	I b	3.23	粘土	黒
第172図	90	グリッド		E-15-b	36	9	B'	a	I b	3.22	砂	茶
第172図	91	グリッド		I-15-c	35	10	B	a	I b	3.2	砂	白
第172図	92	SD	151	K-15	34	9	B	a	I b	3.19	砂	白
第172図	93	グリッド		M-14	36	10	B	a	I b	3.19	砂	黒
第172図	94	SD	151		31	10	B	a	I b	3.17	砂	白
第172図	95	グリッド		J-16-b	35	9	B	a	I b	3.13	砂	白
第172図	96	グリッド		I-21G	35	8	B	a	I b	2.28	砂	茶

第58表 遺物堆積層の土錘(3)

採出番号	図の番号	遺構種類	遺構番号	グリッド・位置	長さ	最大幅	形状	面取り	欠損部位	重量	粘土	色調
第172図	97	グリッド		K-15-a	36	9	B	a	I b	3.05	砂	黒
第172図	98	SE	85		33	10	B	a	I b	3.05	粘土	黒
第172図	99	グリッド		J-14-c	24	11	B	a	I b	3.01	砂	白
第172図	100	表探	-		(28)	10	B	a	I b	2.99	砂	黒
第172図	101	SE	85		30	10	B	a	I b	2.99	粘土	黒
第172図	102	グリッド		N-15a	37	8	B	a	I b	2.88	砂	黒
第172図	103	SD	200		33	8	B	a	I b	2.87	砂	黒
第172図	104	SE	85	中下層	28	0	B	a	I b	2.87	粘土	白
第172図	105	SE	85		32	10	B	a	I b	2.87	粘土	黒
第172図	106	SE	85		28	9	B	a	I b	2.85	粘土	黒
第172図	107	グリッド		L-16-c	30	10	B	a	I b	2.84	砂	白
第172図	108	SE	85		30	9	B	a	I b	2.84	粘土	黒
第172図	109	SE	85		30	10	B	a	I b	2.79	粘土	黒
第172図	110	SE	85	中下層	29	10	B	a	I b	2.77	粘土	黒
第172図	111	SD	125・91	K-16	(30)	10	B	a	I b	2.75	砂	白
第172図	112	SE	55		(33)	10	B	a	I b	2.75	砂	黒
第172図	113	グリッド		M-17-b	31	9	B	a	I b	2.75	砂	白
第172図	114	SE	85		30	10	B	a	I b	2.74	粘土	黒
第172図	115	グリッド		N-21	32	10	B	a	I b	2.73	砂	白
第172図	116	SE	85	中下層	29	10	B	a	I b	2.71	粘土	白
第172図	117	SE	85		26	9	B	a	I b	2.7	粘土	白
第172図	118	SE	85		28	10	B	a	I b	2.66	粘土	黒
第172図	119	グリッド		H-14-d	(32)	8	B	a	I b	2.64	砂	黒
第172図	120	SE	85		28	10	B	a	I b	2.64	粘土	黒
第172図	121	SE	85	中下層	29	10	B	a	I b	2.58	粘土	黒
第172図	122	SE	85		32	8	B	a	I b	2.56	粘土	黒
第172図	123	グリッド		N-15-d	32	9	B	a	I b	2.55	砂	白
第172図	124	SE	85		28	10	B	a	I b	2.55	粘土	黒
第172図	125	SE	85		31	8	B	a	I b	2.53	粘土	黒
第172図	126	グリッド		I-14-d	35	8	B	a	I b	2.52	砂	白
第172図	127	グリッド		J-16-c	(28)	10	B	a	I b	2.51	砂	白
第172図	128	グリッド		L-18-c	32	9	B	a	I b	2.51	砂	黒
第172図	129	SE	85		29	10	B	a	I b	2.51	粘土	黒
第172図	130	SE	85	中下層	28	10	B	a	I b	2.5	粘土	黒
第172図	131	グリッド		L-13-c	34	9	B	a	I b	2.48	粘土	黒
第172図	132	SE	85		28	9	B	a	I b	2.45	粘土	黒
第172図	133	SE	85		29	9	B	a	I b	2.42	粘土	黒
第172図	134	SE	85		28	9	B	a	I b	2.4	粘土	白
第172図	135	グリッド		K-14-d	30	9	B	a	I b	2.35	砂	黒
第172図	136	SE	85		28	9	B	a	I b	2.34	粘土	黒
第172図	137	SE	85		25	9	B	a	I b	2.33	粘土	黒
第172図	138	SE	85	中下層	27	9	B	a	I b	2.32	粘土	黒
第172図	139	グリッド		O-16-a	28	9	B	a	I b	2.31	砂	白
第172図	140	SE	85	中欄	26	10	B	a	I b	2.3	粘土	黒
第172図	141	SE	85		28	10	B	a	I b	2.28	粘土	黒
第172図	142	グリッド		L-15-d	(25)	9	B	a	I b	2.26	粘土	黒
第172図	143	SE	85		(30)	9	B	a	I b	2.24	粘土	白
第172図	144	SD	389	L-16-d	29	8	B	a	I b	2.23	砂	黒

第59表 遺物堆積層の土錘(4)

採回番号	図の番号	遺構種類	遺構番号	グリッド・位置	長さ	最大幅	形状	面取り	欠損部位	重量	胎土	色調
第172図	145	SE	85		29	9	B	a	I b	2.23	粘土	黒
第172図	146	SE	85		24	9	B	a	I b	2.21	粘土	黒
第172図	147	SE	85		(22)	9	B	a	I b	2.21	粘土	白
第172図	148	グリッド		Q-15-b	(28)	8	B	a	I b	2.18	砂	黒
第172図	149	グリッド		J-16-b	26	9	B	a	I b	2.15	砂	白
第172図	150	SE	85		28	9	B	a	I b	2.14	砂	黒
第172図	151	SE	55		28	10	B	a	I b	2.13	粘土	白
第172図	152	SE	85		24	9	B	a	I b	2.12	粘土	黒
第172図	153	SE	85		26	9	B	a	I b	2.12	粘土	黒
第172図	154	SE	85		28	10	B	a	I b	2.84	粘土	黒
第172図	155	SE	85	中下層	28	8	B	a	I b	2.09	粘土	白
第172図	156	SE	85	中下層	25	9	B	a	I b	1.94	粘土	黒
第173図	157	SE	85	中下層	24	9	B	a	I b	2.08	粘土	黒
第173図	158	グリッド		P-15-a	26	9	B	a	I b	2.07	砂	白
第173図	159	SE	85		26	9	B	a	I b	2.18	砂	黒
第173図	160	グリッド		N-15	(22)	11	B	a	I b	1.98	砂	黒
第173図	161	SD	206	P-15G	(49)	16	B	a	I b	1.98	砂	白
第173図	162	SJ	141		26	9	B	a	I b	1.9	砂	白
第173図	163	グリッド		E-16-c	(25)	9	B	a	I b	1.83	砂	黒
第173図	164	SJ	135		(29)	22	B	a	II a	4.28	砂	茶
第173図	165	SD	87	O-17	(25)	11	B	a	II a	2.42	砂	白
第173図	166	SE	85	中下層	(24)	9	B	a	II a	2.24	粘土	黒
第173図	167	SD	125	L-16-d	(15)	12	B	a	II a	2.05	砂	白
第173図	168	グリッド		O-19-a	67	18	B	a	II b	22.9	砂	茶
第173図	169	グリッド		L-13-b	67	19	B	a	II b	22.52	砂	茶
第173図	170	グリッド		G-18-c	49	17	B	a	II b	15.45	砂	茶
第173図	171	グリッド		I-22	53	15	B	a	II b	14.84	砂	茶
第173図	172	グリッド		F-17-d	60	16	B	a	II b	14.4	砂	白
第173図	173	グリッド		N-16	61	15	B	a	II b	13.58	砂	茶
第173図	174	グリッド		M-14	59	15	B	a	II b	11.94	砂	茶
第173図	175	グリッド		O-17-b	38	18	B	a	II b	11.92	砂	茶
第173図	176	グリッド		M-15	61	14	B	a	II b	11.1	砂	黒
第173図	177	ビット	P17	I-20	55	14	B	a	II b	10.78	砂	茶
第173図	178	グリッド		H-17	(50)	14	B	a	II b	10.3	砂	茶
第173図	179	グリッド		N-17-a	(47)	16	B	a	II b	10.27	砂	茶
第173図	180	SD	125・91	K-16	42	14	B	a	II b	9.67	砂	白
第173図	181	SK	311		(51)	13	B	a	II b	8.69	砂	茶
第173図	182	グリッド		J-14-a	41	13	B	a	II b	8.52	砂	茶
第173図	183	グリッド		J-15-b	(39)	15	B	a	II b	8.44	砂	黒
第173図	184	グリッド		N-16-a	56	13	B	a	II b	8.2	砂	茶
第173図	185	グリッド		J-14-c	(35)	16	B	a	II b	7.76	砂	黒
第173図	186	グリッド		N-16-b	44	12	B	a	II b	7.39	砂	白
第173図	187	表採			(44)	10	B	a	II b	4.28	砂	茶
第173図	188	SE	60		54	13	B	a	II b	7.38	砂	茶
第173図	189	SD	125	K-16-a	(37)	13	B	a	II b	6.98	砂	黒
第173図	190	グリッド		J-16-a	36	13	B	a	II b	6.76	砂	茶
第173図	191	グリッド		K-18-b	37	14	B	a	II b	6.73	砂	黒
第173図	192	グリッド		Q-15-a	44	12	B	a	II b	6.4	砂	白